

令和2年度 中小企業の振興に関する施策の実施状況

令和3年12月

岩手県商工労働観光部

1 公表の考え方

- ・ 中小企業振興条例の規定に基づき、知事は毎年度、中小企業の振興に関する施策の実施状況を公表することとしています。

○中小企業振興条例

(施策の実施状況の公表)

第13条 知事は、毎年度、中小企業の振興に関する施策の実施状況を公表するものとする。

- ・ また、平成31年3月に策定された「岩手県中小企業振興第2期基本計画」(以下「基本計画」という。)においても、毎年度、前年度の実施状況を取りまとめ、県ホームページを通じて公表することとしています。
- ・ 今回の公表対象期間である令和2年度は、基本計画の期間(令和元年度～4年度)の2年度目となります。
- ・ 中小企業の振興に関する施策の実施状況として、令和2年度に実施した事業を、基本計画が定めている「推進する施策」ごとに分類し、取りまとめる形で記載しています。

2 岩手県中小企業振興第2期基本計画の構成

- ・ 基本計画は、「計画の基本的な考え方」、「本県の中小企業・小規模企業者の現状と課題」、「目指す姿及び推進する施策」、「計画推進に向けて」の4章により構成されています。
- ・ この基本計画では、計画に基づく施策の実施を通じて企業の目指す姿を次のとおり位置づけ、これらの達成度をはかるための指標(目指す姿指標)を設定しています。

<目指す姿>

～県民が潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる社会の実現を目指して～

【目指す姿①】企業の魅力向上

- 県内の中小企業が、付加価値の高い商品やサービスをつくり出すことにより、企業としての魅力を高めています。

【目指す姿②】働きやすい環境

- 県内の中小企業が、働きやすい環境を整備し、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事を提供しています。

【目指す姿③】利用の促進

- 県民をはじめ、県外の消費者にも県内中小企業が提供する商品やサービスについての共感が得られ、利用が進んでいます。

これらの取組により県内中小企業の事業活動が活発に展開され、資金、商品・サービス、人材・雇用、資源、エネルギー、情報など、地域の経済を地域で回すことにより、持続可能で活力ある循環型の地域経済の振興が図られています。

- ・ また、基本計画では、目標達成に向け**10の施策項目**を進めることとし、その達成度をはかるため**施策項目ごとに指標**を設定しています。

さらに、これらの施策を具体的に実施するため、施策項目ごとに構成事業を定めています。

【岩手県中小企業振興第2期基本計画の構成（イメージ図）】

第1章 計画の基本的な考え方

- 計画の位置付け・性格、計画期間 **令和元年度⇒4年度**、計画の構成

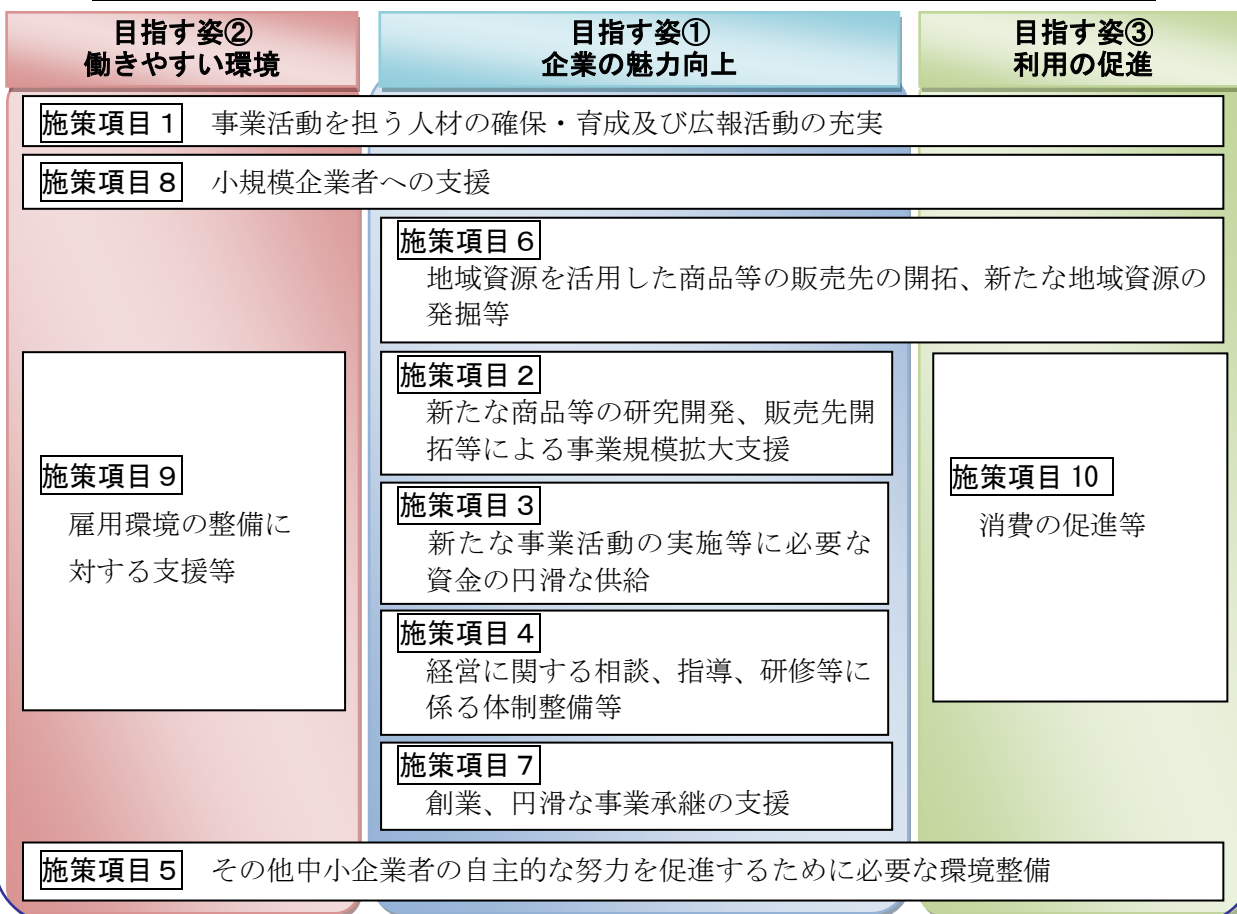
第2章 本県の中小企業・小規模企業者の現状

- 中小企業者を取り巻く状況（経済の状況、東日本大震災津波による被害状況、人口展望）
- 本県の状況（企業数の推移、開業率・廃業率、県内総生産の推移、製造品出荷額の推移等）
- 前計画における中小企業・小規模企業者施策の主な実施内容

第3章 目指す姿及び推進する施策

目指す姿①：企業の魅力向上 **目指す姿②：働きやすい環境** **目指す姿③：利用の促進**

⇒ **目指す姿①・②・③の好循環により持続可能で活力ある地域経済の振興**



第4章 計画推進に向けて

- 推進体制（行政に加え産業支援機関（※）、大学や試験研究機関、国等とも適切に連携）
- 市町村との連携（各市町村の中小企業振興施策と連携）
- 施策の実施状況の公表と計画の見直し（実施状況について、毎年度取りまとめ公表） 等

※ 産業支援機関

本計画の実施を支援する、岩手県商工会議所連合会、各商工会議所、岩手県商工会連合会、各商工会、岩手県中小企業団体中央会、（公財）いわて産業振興センター、岩手県中小企業家同友会、県内金融機関等の総称。

3 令和2年度中小企業振興に関する施策の概要

- ・ 中小企業振興に関する施策を推進するため、令和2年度は**146事業**を実施し、決算額は計**98,559,059千円**となりました。
- ・ 岩手県中小企業振興第2期基本計画策定時に基準とした平成29年度（120事業実施、決算額 計124,478,073千円）と比較すると、25,919,014千円の減となりました。この主な要因は、県制度による設備資金などの需要が、東日本大震災津波からの復興が進展したことなどにより減ったためです。
- ・ 令和2年度に実施した146事業を、基本計画の施策項目ごとに分類すると、以下の表のとおりとなります。

【施策項目ごとの事業数・決算額内訳】

施策項目	事業数	令和2年度 決算額（千円）
(1) 事業活動を担う人材の確保・育成及び広報活動の充実	12 (36)	97,306 (3,212,062)
(2) 新たな商品・役務の開発、研究成果の事業化、新たな販売先の開拓等による事業規模の拡大等の支援	10 (28)	234,046 (1,848,784)
(3) 新たな事業活動の実施等に必要な資金の円滑な供給	5 (6)	17,229,791 (83,340,284)
(4) 経営に関する相談、指導、研修等に係る体制整備等	2 (13)	15,854 (3,398,294)
(5) その他中小企業者の自主的な努力を促進するために必要な環境整備	29 (67)	74,561,264 (220,427,013)
(6) 地域資源を活用した商品・役務の販売先の開拓、新たな地域資源の発掘等	30 (45)	1,340,816 (1,683,035)
(7) 創業、円滑な事業承継の支援	8 (19)	1,314,123 (4,493,929)
(8) 小規模企業者への支援	2 (36)	1,442,402 (89,379,127)
(9) 雇用環境の整備に対する支援等	22 (30)	1,057,283 (1,216,780)
(10) 消費の促進等	26 (38)	1,266,174 (1,628,301)
合計	146	98,559,059

※ 上記（ ）内の数値は、複数の施策項目に再掲事業として掲載しているものを全て合計したもの

- ・ 個別事業の実施状況については、「令和2年度 中小企業の振興に関する施策の実施状況一覧表」のとおりです。

【参考】達成度の判定について

達成度については、令和2年度主要施策の成果に関する説明書（R3.9）の記載に基づき、目標値に対する達成率（％）に応じて下表のとおり判定しています。

目標達成率	100%以上	80%以上100%未満	60%以上80%未満	60%未満
達成度	達成【A】	概ね達成【B】	やや遅れ【C】	遅れ【D】

[目標達成率の計算式]

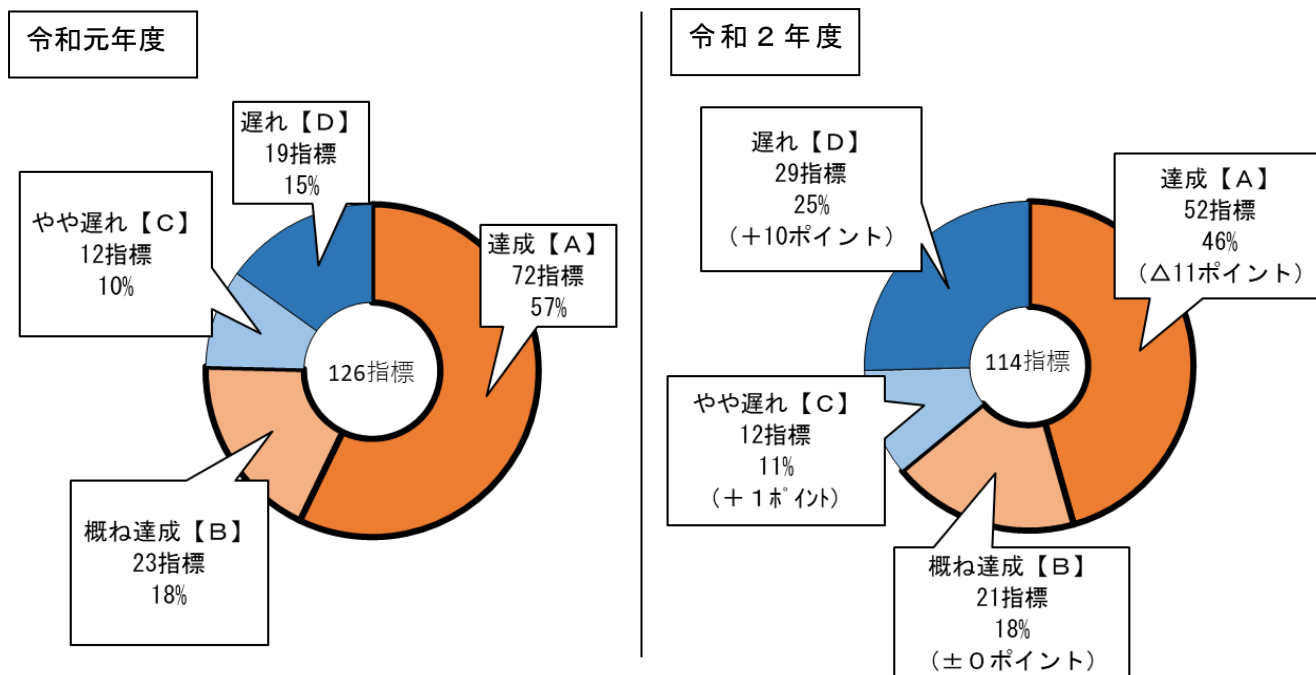
- ① 通常の指標（H29 現状値から数値を上げる目標の場合）
 $(R2 \text{ 実績値} - H29 \text{ 現状値}) / (R2 \text{ 目標値} - H29 \text{ 現状値}) \times 100$
- ② 維持指標等（H29 現状値を維持する目標等）
 $(R2 \text{ 実績値}) / (R2 \text{ 目標値等}) \times 100$
- ③ 震災を踏まえた目標設定とした場合など、①・②の計算式により難しい場合
 $(R2 \text{ 実績値}) / (R2 \text{ 目標値}) \times 100$

（「①」等の表記は、当該年度以外の実績・目標値を示す。）

4 令和2年度における目指す姿指標及び施策項目ごとの指標の達成状況

- ・ 岩手県中小企業振興第2期基本計画では、計画に定める3つの目指す姿（①企業の魅力向上、②働きやすい環境、③利用の促進）の実現に向けた達成度をはかるため、4つの目指す姿指標と、122の個別施策の指標を設定しています。
- ・ 令和2年度の各指標の達成度は、達成【A】52個、概ね達成【B】21個、やや遅れ【C】12個、遅れ【D】29個であり、達成【A】と概ね達成【B】の割合の合計は64.0%でした。
これを令和元年度の指標の達成度と比較すると、達成【A】72個、概ね達成【B】23個、やや遅れ【C】12個、遅れ【D】19個となり、達成【A】と概ね達成【B】の割合の合計75.4%と比較すると、令和2年度は、令和元年度と比較して達成【A】と概ね達成【B】の割合の合計が11.4ポイント低くなりました。
- ・ 達成【A】と概ね達成【B】の割合の合計が低くなった主な要因は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、指標の達成に向けた各種取組を、中止、縮小又は延期せざるを得なかったことによります。
一方、それぞれの指標を所管する各室課等では、新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた取組ができない場合であっても、例えば、コロナ禍では開催が困難な集客による物産展に代えて、新たにECサイトを構築し、新規販売チャネルの獲得を図る取組（P23）や、例年、対面で行っていたセミナーや説明会に代えて、オンライン開催とした取組（P31）など、目指す姿の実現に向けて、工夫を凝らしながら代替の取組を実施しています。
- ・ このことから、令和2年度の各指標の達成状況の測定に当たっては、計画策定時に設定した指標による測定のほか、達成度が、やや遅れ【C】又は遅れ【D】となった指標については、今後の取組方向の記載欄に、代替で実施した取組についても記載しております。
- ・ 新型コロナウイルス感染症による影響は、今後もしばらくの間継続すると見込まれますことから、各指標で定めている令和3年度以降の目標値については、感染症の状況を踏まえながら見直しすることも検討して参ります。

【参考】令和2年度と令和元年度の達成度の比較



※未確定12指標除く
 ※（ ）書きは前年度との比較

達成度	達成【A】 100%以上		概ね達成【B】 80%以上100%未満		やや遅れ【C】 60%以上80%未満		遅れ【D】 60%未満		計	
	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2	R1	R2
中小企業振興基本計画（A+B）	76 60%	52 46%	19 15%	21 18%	12 10%	12 11%	19 15%	29 25%	126 100%	114 100%
目指す姿指標（A）	4 100%	0 0%	0 0%	3 75%	0 0%	0 0%	0 0%	1 25%	4 100%	4 100%
施策項目（B）	72 59%	52 47%	19 16%	18 16%	12 10%	12 11%	19 16%	28 25%	122 100%	110 100%
1 事業活動を担う人材の確保・育成及び広報活動の充実	8 57%	5 45%	3 21%	2 18%	0 0%	1 9%	3 21%	3 27%	14 100%	11 100%
2 新たな商品等の研究開発、販売先開拓等による事業規模拡大支援	13 87%	11 73%	1 7%	2 13%	1 7%	1 7%	0 0%	1 7%	15 100%	15 100%
3 新たな事業活動の実施等に必要資金の円滑な供給	2 100%	0 0%	0 0%	2 100%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	2 100%	2 100%
4 経営に関する相談、指導、研修に係る体制整備等	3 100%	3 100%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	3 100%	3 100%
5 その他中小企業者の自主的な努力を促進するために必要な環境整備	10 83%	8 80%	1 8%	2 20%	1 8%	0 0%	0 0%	0 0%	12 100%	10 100%
6 地域資源を活用した商品等の販売先の開拓、新たな地域資源の発掘等	15 65%	10 43%	3 13%	4 17%	1 4%	2 9%	4 17%	7 30%	23 100%	23 100%
7 創業、円滑な事業承継の支援	6 75%	3 38%	1 13%	0 0%	1 13%	2 25%	0 0%	3 38%	8 100%	8 100%
8 小規模企業者への支援	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%
9 雇用環境の整備に対する支援等	4 20%	6 40%	6 30%	4 27%	6 30%	2 13%	4 20%	3 20%	20 100%	15 100%
10 消費の促進等	11 44%	6 26%	4 16%	2 9%	2 8%	4 17%	8 32%	11 48%	25 100%	23 100%

5 目指す姿指標の達成状況

【目指す姿①】 企業の魅力向上

(指標) 従業者一人当たりの付加価値額 (千円)

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②85,983	①6,043	①5,487	遅れ【D】 (60%未満)	③6,164

- 従業者一人当たりの付加価値額 (令和元年度) は、消費税の増税や新型コロナウイルス感染症による影響により、個人消費の落ち込みが顕著となり、生産活動においても幅広い業種の事業活動が停滞したため、達成度は【D】となりました。

<今後の方向>

- ・ これまでにおいても新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業者に対して新規の融資制度を創設し、切れ目のない金融支援を行ってきたところでありますが、引き続き、資金面から事業者の事業継続、売上の回復を下支えしていきます。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響の長期化により、新しい生活様式に対応した業態転換等を促進するため、経営革新計画の策定や事業再構築を見据えた事業計画策定等を商工指導団体と連携し、伴走的に支援することにより、売上の回復を図ります。

【目指す姿②】 働きやすい環境

(指標) 総実労働時間 [年間] (時間)

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,858.8	1,776.0	1,778.4	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	1,720.8

(指標) 高卒者の県内就職率 (%)

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
65.8	84.5	71.4	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	84.5

【目指す姿③】 利用の促進

(指標) 県の官公需契約件数に占める中小企業との契約件数の割合 (%)

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
89.1	90.5	87.8	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	91.5

6 施策項目ごとの指標の達成状況

施策項目1 事業活動を担う人材の確保・育成及び広報活動の充実

【推進した施策】

- ものづくり産業人材の育成・確保・定着
- 建設業の将来を担う人材の確保、育成
- 情報通信技術（ICT）人材の育成
- 科学技術の理解増進と次代を担う人材の育成
- 地域産業の国際化に貢献する人材の育成
- キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成
- 高等教育機関との連携による地域課題解決に向けた取組の推進
- 地域をけん引する人材育成と若者定着の促進
- 県内就業の促進及びU・Iターンによる人材確保の推進
- 若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保
- 伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援
- 売れる観光地をつくる体制の整備促進
- 若者の活躍支援

【主な取組状況】

■ものづくり産業人材の育成・確保・定着

- ・地域ものづくりネットワーク等(※)と連携し、小学生から社会人に至るまでの各段階に応じた人材育成や地域企業の理解促進を進めています。
- ・企業情報の発信、工場見学、インターンシップ等を通じた新卒者等の県内定着や、U・Iターンの促進により、県内ものづくり産業全体の人材確保・定着を進めています。

計画における指標

地域ものづくりネットワーク等と連携した工場見学への参加高校生数（人）（延べ）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値（R4）
1,879	1,900	1,572	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	1,900

※ 地域ものづくりネットワーク

ものづくり人材育成の推進を目的に設立された産学官によるネットワーク組織。県内の5地域（北上川流域、宮古、釜石、気仙、県北）で組織されている。

三次元設計開発技術を習得した高校生数（単位：人）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値（R4）
63	135	202	達成【A】 (100%以上)	290

■建設業の将来を担う人材の確保、育成

建設現場における技術力の向上に向けて、関係機関と連携した講習会の実施や、建設分野への情報通信技術（ICT）の普及・拡大を図っています。

計画における指標

若者、女性の活躍推進、経営力強化を目的とする講習会の受講者数（単位：人）〔累計〕〈再掲〉

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値（R4）
962	2,000	2,300	達成【A】 (100%以上)	4,000

■情報通信技術（ICT）人材の育成

最新の情報通信技術（ICT）を紹介する県民向けフェア、オープンデータやIoT（※）等に関する企業や市町村職員等向けセミナーの開催等によりICTの普及啓発やICT人材の育成に取り組んでいます。

※ IoT

Internet of Things（モノのインターネット）の略。様々なモノがインターネットに接続され、情報交換することにより相互に制御する仕組み。

計画における指標

ICTセミナー受講者数（単位：人）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値（R4）
93	370	-	-	780

- ICTセミナー受講者数〔累計〕は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、セミナーの実地開催を中止したため、実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、5Gや教育ICT等に関する企業や市町村職員等向けのセミナーをオンライン形式で開催し、ICTの普及啓発やICT人材の育成に取り組みました。（オンライン参加者を含めた実績値は累計431人）

■科学技術の理解増進と次代を担う人材の育成

最先端の科学技術に触れる機会の提供等を通じて、科学技術に関する興味や関心を高めることなどにより、本県の多様な資源と技術を生かした研究開発を担う人材の育成に取り組んでいます。

計画における指標

科学技術普及啓発イベント等来場者数（単位：人）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値（R4）
⑩7,667	7,800	1,093	遅れ【D】 (60%未満)	8,000

- 科学技術普及啓発イベント等来場者数は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、実地による対面形式でのイベントについて中止や規模を縮小したため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、実地開催に代わりオンラインによる科学技術普及啓発イベント等の実施に取り組みました。（いわてまるごと科学館オンライン：ページビュー4,983回）

<今後の方向>

- ・ 科学技術の様々な分野の高度化にも寄与している情報通信技術をプログラムに取り入れ、普及啓発のターゲット層を広げ、より多くの県民に興味を抱いていただけるイベント内容とします。
- ・ 手指消毒や会場の換気などの感染対策を徹底し、誰もが安心して来場いただける環境を整えます。

■地域産業の国際化に貢献する人材の育成

- ・学生の国際的視野を養うため、企業や団体、高等教育機関、行政など産学官が一体となった「いわてグローバル人材育成推進協議会」を活用し、学生の海外留学や、留学に向けた地域課題を把握するための地元企業等へのインターンシップを支援しています。
- ・外国人留学生やJETプログラム経験者の県内就職を促進するため、県内企業と留学生等のマッチングやインターンシップの機会を提供しています。

計画における指標

いわてグローバル人材育成推進協議会の支援制度を利用して海外留学した学生数（単位：人）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
③05	10	-	-	20

グローバルキャリアフェアの参加者数（単位：人）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
③049	104	74	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	216

- いわてグローバル人材育成推進協議会の支援制度を利用して海外留学した学生数〔累計〕は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大の状況を踏まえ、令和2年度の海外派遣を中止したため、実績値は測定できませんでした。また、グローバルキャリアフェアの参加者数〔累計〕は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大による入国制限等により、参加対象の県内留学生等が例年より少なかったため、達成度は【C】となりました。なお、令和2年度においては、感染症対策を徹底したうえで、グローバルキャリアフェアに加えワークショップを開催し、グローバル人材の県内定着に取り組みました。

<今後の方向>

グローバルキャリアフェアについては、新型コロナウイルス感染症の影響により参加対象となる外国人留学生等が例年より少なく、また、コロナ禍で種々制約がある状況が続くと見込まれますが、より多くの参加者を集めるため、感染症対策を徹底したうえで、魅力あるイベント内容や、関連行事の複数回の開催、参加しやすい時期や開催形式（オンライン）等の検討を行いながら、グローバル人材の県内定着の取組を進めていきます。

■キャリア教育の推進とライフデザイン能力の育成

- ・各学校が作成した「キャリア教育全体計画」に基づき、主体的に進路を選択し、社会人・職業人として自立するための能力を育成するため、キャリア教育を一層推進し、社会人講師によるライフデザインに関する講演や社会人との交流会等に取り組んでいます。
- ・児童生徒、保護者、教員の地域企業等への理解や関心を高めるため、県内の産業界等と連携し、企業見学会や企業ガイダンスの開催などに取り組んでいます。

計画における指標

将来希望する職業（仕事）について考えている高校2年生の割合（単位：％）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
55	59	-	-	65

- 将来希望する職業（仕事）について考えている高校2年生の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、県意識調査を中止したため、実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、特別活動を中心としつつ、各教科においてもキャリア教育に取り組みました。

■高等教育機関との連携による地域課題解決に向けた取組の推進

東日本大震災津波からの復興やふるさと振興を進める上での様々な地域課題の解決に向けて、高等教育機関の専門的知識を活用した共同研究を推進するほか、新たな仕組みを地域に定着させるための取組などを展開しています。

計画における指標

地域課題解決を目的とした県内高等教育機関との共同研究数（単位：件）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
13	30	37	達成【A】 (100%以上)	60

■地域をけん引する人材の育成と若者定着の促進

県内大学生等の卒業後の地元定着を高めるため、産学官連携による地元企業の魅力向上を図るとともに、県内企業と大学生等との交流機会の創出等による地元定着の意識の醸成に取り組んでいます。

計画における指標

県内企業等へのインターンシップ参加者数（単位：人）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
678	715	189	遅れ【D】 (60%未満)	745

- 県内企業等へのインターンシップ参加者数は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、一部の企業等でインターンシップを中止し又は縮小したほか、大学が運営するインターンシップ事業を中止したことなどにより、インターンシップに参加する学生が大きく減少し、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、WEBによる合同企業説明会や個別企業説明会等のコーディネートサービスの提供を実施しました。

<今後の方向>

新型コロナウイルス感染症の影響が続く中においては、WEBも活用しながら、県内学生等と県内企業との交流機会の充実など、高等教育機関や自治体、企業、NPO等が連携し、県内企業の魅力を伝える取組を継続して実施していくことで、県内学生等の地元定着意識を醸成します。

計画における指標

県内大学等卒業者の県内就職率（単位：％）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
45.3	49.5	45.3	遅れ【D】 (60%未満)	51.5

- 県内大学等卒業者の県内就職率は、県内大学等の卒業生の地元定着を促進するため、大学等における県内企業紹介キャラバンの実施したほか、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえてWEBによる合同企業説明会を開催するなど、県内企業の魅力を伝える機会を設けてきており、県内に就職する県内大学等卒業者の数は前年度より増加しているものの、首都圏を中心とする県外企業により魅力があると受け止められているため、達成度は【D】となりました。

<今後の方向>

高等教育機関や産業界と連携し、県内就職率の向上に向けた分析や取組を進めるとともに、新型コロナウイルス感染症の影響が続く中においては、WEBも活用しながら、県内学生等と県内企業との交流機会の充実など、関係機関・団体と連携し、県内企業の魅力を伝える取組を継続して実施していくことで、県内学生等の地元定着意識を醸成します。

■県内就業の促進及びU・Iターンによる人材確保の推進 [再掲]

(施策項目9を参照)

■若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保

若者の起業マインドの醸成や、後継者の経営能力の向上を図るための取組を大学や商工指導団体等と連携して行っています。

計画における指標

商工指導団体による創業指導回数（単位：回）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
300	600	1,017	達成【A】 (100%以上)	1,200

いわて起業家育成資金の貸付件数（単位：件）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
76	180	174	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	360

■伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援 [再掲]

(施策項目6を参照)

■売れる観光地をつくる体制の整備促進 [再掲]

(施策項目10を参照)

■若者の活躍支援

若者が地域の課題解決を目指して、自由な発想で考え、話し合い、次への活動につなげられるよう、地域づくり、ボランティア、起業、文化等の多様な分野で活躍する若者の交流促進を図り、若者同士のネットワークづくりの支援に取り組みます。

計画における指標

いわて若者交流ポータルサイト登録団体数（単位：団体）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
62	79	95	達成【A】 (100%以上)	91

施策項目2 新たな商品・役務の開発、研究成果の事業化、新たな販売先の開拓等による事業規模の拡大等の支援

【推進した施策】

- 中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進
- 市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出
- 産業の一層の集積と高度化を通じた、ものづくりのグローバル拠点化の推進
- 地域経済の好循環をもたらす地域クラスターの拡大促進
- 企業間・産学官連携を通じた関連技術の開発などによる新産業の創出
- 企業の生産性や付加価値の向上にむけた「ものづくり革新」への対応
- 食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援
- 水産加工業の商品力向上や販路開拓、生産性向上への支援
- 伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援

【主な取組状況】

■中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進

新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中小企業者が、社会経済環境の変化に的確に対応し、新分野への進出、新商品の開発など新たな事業活動に取り組めるよう、産業支援機関と連携して「経営革新計画(※)」の策定を支援しています。

※ 経営革新計画

「中小企業等経営強化法」に基づき、事業者が新事業活動を行うことにより、その経営の相当程度の向上を図ることを目的として作成する計画。この計画の承認を受けることにより、県の融資制度等による支援措置を受けることが可能となる。

計画における指標

経営革新計画承認件数（件）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
549	669	748	達成【A】 (100%以上)	750

計画における指標

商工指導団体による指導を受けた企業・組合数（企業・組合）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
37,000	74,000	82,251	達成【A】 (100%以上)	148,000

■市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出

地域に密着した商業・サービス業者等の持続的発展を図るため、市町村や商工指導団体と連携して、付加価値の高い商品やサービスの創出、生産性の向上の取組を支援しています。

計画における指標

商業・サービス業者に対する専門家利用企業数（企業）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
97	200	340	達成【A】 (100%以上)	400

計画における指標

にぎわいや魅力づくりにつながる活動に取り組む商店街の割合（%）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②742.6	67.0	61.2	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	75.0

- にぎわいや魅力づくりにつながる活動に取り組む商店街の割合は、商店街指導アドバイザーの派遣や市町村、商工指導団体と連携し国の事業活用を図りながら取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症による外出自粛等のため、イベント、集客事業の開催が困難であり、達成度は【C】となりました。

<今後の方向>

商店街等における個店の魅力や経営力向上を目的とする専門家派遣事業を行い、個店の支援のみならず、商店街への面的効果波及を図り、商店街の持つ集客力強化を図ります。

■産業の一層の集積と高度化を通じた、ものづくりのグローバル拠点化の推進

・自動車関連産業については、展示商談会や工程改善研修会の開催、設備投資支援、人材育成支援等を通じて、県内における一層の産業集積を図るとともに、岩手の優れたクルマづくり技術のグローバル展開を促進し、地場企業の更なる業容拡大・技術力向上につながる取組を支援しています。

・半導体関連産業については、地場企業の技術力向上等を支援し、誘致企業をはじめとする関連企業との協業・取引拡大につながる取組を推進するとともに、県内大学等と連携し、社会人や県内の学生を対象とした技術習得や教育訓練を実施する等、世界的に拡大している半導体市場を的確に捉えた取組を推進し、中核産業としての成長力を高めています。

計画における指標

地場企業の自動車関連取引成約件数（件）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
36	70	95	達成【A】 (100%以上)	140

地場企業の半導体関連取引成約件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
48	60	53	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	120

■地域経済に好循環をもたらす地域クラスターの拡大促進

地場企業の技術高度化や新技術開発等の取組を支援し、国内外に一定のシェアを持つ県内各地の中核的企業と地場企業群とのサプライチェーンの構築につなげ、さらには、形成した地域クラスターの拡大を促進しています。

計画における指標

クラスターに新規に参加する地場企業数（社）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
4	8	8	達成【A】 (100%以上)	16

クラスター参入企業における新規取引件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
4	10	11	達成【A】 (100%以上)	20

■企業間・産学官連携を通じた関連技術の開発などによる新産業の創出

- ・医療機器、ロボットなどの新たな産業分野への県内企業の参入を促進するため、企業間連携や産学官連携による関連技術開発、販路開拓等の取組を支援しています。
- ・航空機、加速器関連などの将来成長が見込める有望な産業については、産業支援機関等と連携し、情報収集や地場企業のニーズ把握等を進めています。

計画における指標

医療機器関連取引成約件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
9	16	19	達成【A】 (100%以上)	32

医療関連機器等の新製品開発件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1	4	6	達成【A】 (100%以上)	8

産学官連携によるロボット開発件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
2	2	5	達成【A】 (100%以上)	4

■企業の生産性や付加価値の向上に向けた「ものづくり革新」への対応

企業の生産性や付加価値の向上に向けて、生産現場におけるカイゼン、3S、カラクリ等の取組を支援します。

計画における指標

ものづくり関連分野（輸送用機械、半導体製造装置、電子部品・デバイス等）の付加価値額（百万円）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②385,425	①403,031	①477,275	達成【A】 (100%以上)	③415,212

創意工夫功労者賞（※）受賞者数（人）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
32	80	40	遅れ【D】 (60%未満)	160

- 創意工夫功労者賞受賞者数〔累計〕は、表彰制度の周知活動強化に努めたことにより、全国で4番目となる12名の受賞者数となりましたが、令和元年度の国の推薦要領の変更により全国受賞者数が半減したことに伴い岩手県の受賞者が減少し、達成度は【D】となりました。

<今後の方向>

創意工夫功労者の受賞者数増加に向けて、これまでの応募企業に対して継続的な応募への働きかけを行うとともに、未応募企業に対する創意工夫功労者賞への理解促進と応募への働きかけに取り組みます。

※ 創意工夫功労者賞

優れた創意工夫により職域における技術の改善向上に貢献した者を対象にした文部科学大臣が表彰する賞のこと。

■食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援

（施策項目6を参照）

■水産加工業の商品力向上や販路開拓、生産性向上への支援

沿岸地域の主要産業である水産加工業が抱える原材料の調達や労働力の確保といった課題に対応するため、関係機関と連携しながら相談会等による商品開発、商談会やフェア等による販路開拓、カイゼンによる生産性向上及び人材育成などに取り組んでいます。

計画における指標

商品開発等の支援を受けた水産加工業者件数（件）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
35	80	93	達成【A】 (100%以上)	160

国内の食の商談会等出展者（水産加工業）数（者）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
99	210	186	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	420

■伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援〔再掲〕

(施策項目6を参照)

施策項目3 新たな事業活動の実施等に必要な資金の円滑な供給

【推進した施策】

○企業のライフステージに対応した切れ目のない金融支援

【主な取組状況】

■企業のライフステージに対応した切れ目のない金融支援

中小企業者の事業活動に必要な資金や、県内中小企業が経営の安定に支障を来すおそれのある場合に、運転資金など経営改善の取組に必要な資金の貸付を行っています。

また、経営の革新等により今後の成長や周辺企業への波及効果が期待される中小企業の設備投資を支援するため、(公財)いわて産業振興センターが行う設備貸与事業に要する事業原資の貸付を行っています。

計画における指標

商工観光振興資金及び中小企業成長応援資金の貸付件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
758	1,400	1,256	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	2,800

計画における指標

設備貸与制度の利用実績（件）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
60	60	52	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	120

施策項目4 経営に関する相談、指導、研修等に係る体制整備等

【推進した施策】

- 中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進
- 商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進
- 市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出
- 建設業における労働環境の整備、技術力・生産性の向上、経営基盤強化

【主な取組状況】

■中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進〔再掲〕

(施策項目2を参照)

■商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進[再掲]
(施策項目 7 を参照)

■市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出[再掲]
(施策項目 2 を参照)

■建設業における労働環境の整備、技術力・生産性の向上、経営基盤強化

・社会資本の整備や維持管理、災害時の対応を担う地域の建設企業における建設技能労働者の確保に向け、建設業の魅力の発信等に取り組むほか、建設現場における労働環境の改善に向けた意識啓発に取り組み、若者や女性等が働きやすい労働環境の整備を促進しています。

・建設現場における生産性の向上に向け、建設分野への情報通信技術（ICT）の普及・拡大を図っています。

・県内建設業の総合対策としてのいわて建設業振興中期プランに基づき、地域の建設企業の経営基盤の強化や経営革新のほか、新分野・新事業に取り組む企業に対する支援等を行っています。

計画における指標

若者、女性の活躍推進、経営力強化を目的とする講習会の受講者数（人）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
962	2,000	2,300	達成【A】 (100%以上)	4,000

ICTを活用した県営建設工事の実施数（件）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
14	35	44	達成【A】 (100%以上)	50

経営支援センターの助言等による新事業立ち上げ企業数（社）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
120	129	130	達成【A】 (100%以上)	135

施策項目 5 その他中小企業者の自主的な努力を促進するために必要な環境整備

【推進した施策】

- 被災した水産加工業者に対する支援
- 三陸の多様な資源を生かした産業振興に向けた支援
- 被災企業の事業再開の推進
- 三陸の多様な資源を生かした研究開発の推進
- 企業誘致等による地域産業の拠点化・高度化の推進
- 多様なものづくり風土の醸成
- 廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用の推進
- 国際研究拠点の形成と関連インフラの整備
- イノベーションの創出に向けた研究開発の推進
- ICT 利活用による地域課題の解決と県民利便性の向上

【主な取組状況】

■被災した水産加工業者に対する支援[再掲]

(施策項目5「被災企業の事業再開の推進」を参照)

■三陸の多様な資源を生かした産業振興に向けた支援

三陸の多様な資源を生かした産業の振興が図られるよう、復興まちづくりに合わせて、若者や女性をはじめとした被災地での起業、第二創業、新事業進出等の新たなビジネス立上げを支援するとともに、起業家等の経営支援や資金調達支援等に取り組んでいます。

計画における指標

さんりくなりわい創出支援事業における支援事業者数（者）

実績値 (R1・R2計)	計画値 (R1・R2計)
45	50

被災中小企業重層的支援事業による支援実施団体数（団体）

実績値 (R1・R2計)	計画値 (R1・R2計)
14	14

■被災企業の事業再開の推進

複数の中小企業等が一体となって、サプライチェーンの回復、地域の産業集積、商業集積機能の維持・再構築を図る場合に、当該事業に必要な施設・設備の復旧・整備を支援しています。

また、産業支援機関と連携し、経営の安定化を支援するとともに、事業計画策定等の支援を通じて、事業再開した被災地の中小企業者の販路開拓や売上増加に向けた取組を支援しています。

計画における指標

岩手県産業復興相談センター相談受付件数（件）

実績値 (R1・R2計)	計画値 (R1・R2計)
75	71

二重債務対策支援件数（件）

実績値 (R1・R2計)	計画値 (R1・R2計)
57	12

中小企業東日本大震災復興資金貸付金による融資額（億円）

実績値 (R1・R2計)	計画値 (R1・R2計)
552	569

新しい三陸の地域産業展開事業によるカイゼン導入企業数（社）

実績値 (R1・R2計)	計画値 (R1・R2計)
40	40

新しい三陸の地域産業展開事業による被災企業経営相談回数（回）

実績値 (R1・R2計)	計画値 (R1・R2計)
92	131

■企業誘致等による地域産業の拠点化・高度化の推進

・企業間連携などを通じて既立地企業の業容拡大を支援するとともに、特に地域の産業経済の中核となる企業については、研究開発や情報処理部門をはじめとする本社機能や関連企業の移転・拡充の促進により、県内における一貫生産体制の構築と一層の拠点化を進めています。

・県北・沿岸地域においては、多様な就業の場を確保するための新規誘致や既立地企業の業容拡大に加え、地域全体の産業競争力の強化のため、地場企業を含めた生産性・技術力の向上や人工知能（AI）・IoTなどの導入を支援しながら、地域産業の高度化に取り組んでいます。

計画における指標

新規立地・増設件数（件）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
29	50	81	達成【A】 (100%以上)	100

県北・沿岸地域における新規立地・増設件数（上記指標の内数）（件）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
6	10	8	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	20

■多様なものづくりの風土の醸成

個人がデジタル工作機器等に触れることができる「ファブテラスいわて」の利用拡大等により、ものづくりが身近になることで、独創的なアイデアを製品開発や起業に結び付けられるような多様なものづくり風土の醸成を図っています。

計画における指標

ファブテラスいわての利用者数（人）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
-	1,920	2,038	達成【A】 (100%以上)	3,840

計画目標値は R2 からの累計

■廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用の推進

事業者による 3 R (※) を促進するため、廃棄物の発生抑制等に資する技術や製品の開発など新たな環境産業の創出や環境に配慮した事業活動を支援しています。

※ 3 R

Reduce (リデュース：廃棄物の発生抑制)、Reuse (リユース：再使用)、Recycle (リサイクル：再生利用) の 3 つの英語の頭文字をとったもの。3 つの R に取り組むことでごみを限りなく少なくし、環境への影響を極力減らし、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会 (= 循環型社会) をつくろうとするもの。

計画における指標

事業者等の 3 R 推進の取組に対する支援実施件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
101	119	125	達成【A】 (100%以上)	131

■国際研究拠点の形成と関連インフラの整備

・ I L C (※₁) の実現による国際研究拠点の形成に向けて、「I L C による地域振興ビジョン」(令和元年 7 月策定) に基づき、本県も参画して発足した東北 I L C 事業推進センターの取組と連動した建設候補地として必要となる受入環境の整備に向けた調査検討や、技術セミナー等による県内企業の加速器関連産業への参入及び受注の促進に取り組んでいます。

・いわて海洋研究コンソーシアム (※₂) をはじめ、県内のみならず、海外の研究機関との連携や新しい研究機能の誘致活動を推進し、海洋分野の国際研究拠点の形成に取り組めます。

※₁ I L C

International Linear Collider (国際リニアコライダー) の略。全長 20~50 km の地下トンネルに建設される、電子と陽電子を加速、衝突させ、質量の起源や時空構造、宇宙誕生の謎の解明を目指す大規模施設。

※₂ いわて海洋研究コンソーシアム

海洋研究機関等のネットワーク強化による研究プロジェクトの創出や研究者の集積を図ることにより沿岸地域における産業の活性化に寄与することを目的に、東京大学大気海洋研究所をはじめとする沿岸地域に立地する海洋研究機関と地域の行政、商工指導団体等により平成 21 年 (2009 年) 7 月に設立。

計画における指標

研究者等調査対応件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
10	31	39	達成【A】 (100%以上)	75

加速器関連産業における共同研究開発件数（件）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
4	2	2	達成【A】 (100%以上)	4

三陸海域論文知事表彰応募件数（件）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
㊦10	20	17	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	40

■イノベーションの創出に向けた研究開発の推進

ものづくり産業や農林水産業をはじめとする各分野における課題解決を図るため、先端科学技術の成果の生産現場導入を推進しています。また、本県の多様な資源と技術を生かした研究シーズの創出・育成に向け、研究開発基盤の強化、資金支援、産学官金連携の取組を推進しています。

計画における指標

特許出願等相談件数（件）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,599	1,650	1,803	達成【A】 (100%以上)	1,700

県の支援による科学技術に関する競争的資金獲得件数（件）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
10	10	11	達成【A】 (100%以上)	10

公設試験研究機関における産学官共同研究数（件）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
120	246	263	達成【A】 (100%以上)	500

■ICT利活用による地域課題の解決と県民利便性の向上

企業や市町村にICTの専門家を派遣し、ICTの利活用による業務改善等についてアドバイスをを行っています。また、最新のICTの利活用事例に関するフェアやセミナーの開催により、県民や市町村、企業等への普及啓発を行っています。

計画における指標

ICTフェア来場者数（人）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
㊦479	560	-	-	640

- ICTフェア来場者数は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、イベントの現地開催を中止したことから、実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、働き方改革等に関する最新の情報通信技術（ICT）を紹介する「いわてSociety5.0フェア-ONLINE-」をオンラインで開催し、ICTの普及啓発に取り組みました。（オンライン参加者の実績値は1,460人）

ICTセミナー受講者数（人）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値（R4）
93	370	-	-	780

- ICTセミナー受講者数〔累計〕は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、セミナーの現地開催を中止したため、実績値を測定できませんでした。なお、令和2年度においては、5Gや教育ICT等に関する企業や市町村職員等向けのセミナーをオンライン形式で開催し、ICTの普及啓発やICT人材の育成に取り組みました。（オンライン参加者を含めた実績値は累計431人）

施策項目6 地域資源を活用した商品・役務の販売先の開拓、新たな地域資源の発掘等

【推進した施策】

- 食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援
- 伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援
- 「観光で稼ぐ」地域づくりの推進 ○質の高い旅行商品の開発・売込み
- 快適に暮らせる良質で環境に配慮した居住環境づくり
- 県産農林水産物の高付加価値化と販路の開拓・拡大の推進
- 県産農林水産物の評価・信頼の向上
- 戦略的な県産農林水産物の輸出促進と外国人観光客等への対応
- 生産者と消費者の結びつきを深め、地域経済の好循環を創出する取組の推進
- 温室効果ガス排出削減対策の推進 ○再生可能エネルギーの導入促進
- 地球温暖化に伴う気候変動の影響への適応

【主な取組状況】

■食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援

本県食産業振興の協働体制であるプラットフォーム「FCP岩手ランチ」（構成員：企業、生産者、産業支援機関、行政等）などの活動を通じて、農商工連携や事業者間連携を促進しています。

※ フード・コミュニケーション・プロジェクト（FCP）
農林水産省が提唱しているもので、食品事業者が主体的に行う「食の安全・安心」の活動を“見える化”することにより、食に対する消費者の信頼向上や、企業業績の向上につなげようとする取組。

計画における指標

国内の食の商談会等出展者数（者）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値（R4）
524	1,000	904	達成【B】 (80%以上100%未満)	2,000

国内の食の商談会有望取引件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
535	1,000	686	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	2,000

- 国内の食の商談会有望取引件数〔累計〕は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言の発令により、令和3年1月の大阪商談会を中止したほか、県をまたぐ移動自粛の影響や商談会場における密集回避により出展者数と来場バイヤー数の双方が減少した結果として有望取引件数も減少したことから、達成度は【C】となりました。なお、令和2年度は、県内外での食の商談会（盛岡、仙台、東京、名古屋）を新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催し、県内事業者の商談機会の確保に取り組みました。

<今後の方向>

- ・ 各商談会の開催時期におけるワクチン接種の進行状況を見ながら、令和2年度に中止した大阪商談会の再開を周知する等の機会を捉え、県内事業者への出展とバイヤーへの来場の働きかけを従来以上に強めていきます。
- ・ 対面商談を補完するオンライン商談については、令和2年度に岩手県産物館におけるバイヤー向けポータルサイトの構築を支援したところであり、令和3年度以降の補助事業者及び県内事業者による活用を、県としても支援していきます。

■伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援

- ・ 伝統工芸産業の更なる振興に向けて、ライフスタイルの変化を見据えた新商品開発や、展示販売会等を通じた新たな購買層の開拓など事業者の経営力向上を支援しています。
- ・ アパレル産業の収益性を向上させるため、縫製技術のレベルアップや新たな販路の開拓等を支援するとともに、国内主要アパレル産地としての認知度の向上により担い手の確保を支援しています。

計画における指標

岩手県が実施する物産展・展示販売会等への伝統工芸産業事業者の出展者数（延べ）（者）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
161	220	123	遅れ【D】 (60%未満)	240

- 岩手県が実施する物産展・展示販売会等への伝統工芸産業事業者の出展者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、全国の百貨店等での物産展等の中止や規模縮小等が相次いだことから、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、バーチャル物産展によるオンライン販売を実施し、新たな販売チャネルを開発し、販路拡大や出展機会を確保するなど、事業者の支援を行いました。

<今後の方向>

- ・ ワクチン接種の進捗状況を注視しながら、感染症対策に万全を期すことで百貨店等での物産展や展示販売会を開催し、出展機会を確保します。
- ・ 今後も買うなら岩手のものバーチャル物産展を通じた出展を促すとともに、令和3年度は大手ネット通販への参入支援を行うなど、ニューノーマルに対応した取組を強化することで、出展機会の拡大に努めます。

岩手県が実施する物産展・展示販売会等での漆器販売額（万円）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
453	525	732	達成【A】 (100%以上)	640

アパレル商談会成約件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
4	20	6	遅れ【D】 (60%未満)	40

- アパレル商談会成約件数〔累計〕は、新型コロナウイルス感染症の影響により、商談会が中止となったことから、代替策として書面マッチングによる商談会を開催したものの、成約には至らず達成度は【D】となりました。なお、令和2年度は新たな取組として、ファクトリーブランドの開発、オンライン販売、プロモーション活動を一体的に支援する「イワテメイドアパレルプロジェクト」を実施し、収益力向上につながる支援を行いました。

＜今後の方向＞

- ・ ワクチン接種の進捗状況を注視しながら、商談会の開催時期を検討し、万全な感染症対策を行ったうえで開催します。
- ・ （公財）いわて産業振興センターと連携して、オンラインによる商談会の開催も新たに検討するとともに、自社ブランド製品開発とその販売支援にも取り組んでいきます。

■「観光で稼ぐ」地域づくりの推進〔再掲〕

（施策項目 10 を参照）

■質の高い旅行商品の開発・売込み〔再掲〕

（施策項目 10 を参照）

■快適に暮らせる良質で環境に配慮した居住環境づくり

- ・ 県産木材を活用するなど岩手らしさや高い断熱性能を備えた岩手型住宅の普及、住宅の耐震改修の促進など、快適で安全な住宅の普及を促進します。
- ・ 地域の魅力を高め、地域を活性化するリノベーションまちづくりの取組を促進します。

計画における指標

新築住宅着工戸数に占める長期優良住宅（※）の割合（％）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
10.2	11.9	12.6	達成【A】 (100%以上)	13.0

※ 長期優良住宅

長期にわたり住み続けられるよう劣化対策や耐震性、維持管理の容易性などの措置が講じられた優良な住宅のこと。

■県産農林水産物の高付加価値化と販路の開拓・拡大の推進

6次産業化を推進するため、「食のプロフェッショナルチーム」アドバイザーによる商品開発等に関する指導や、「いわて6次産業化支援センター(※)」による事業計画策定等に関するサポート活動など、生産者による取組を支援しています。

※ いわて6次産業化支援センター

県が、生産者等の6次産業化の取組を総合的に支援する目的で設置し、各種サポート活動を行うもの。

計画における指標

6次産業化による販売額（億円）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②8303	① 351	① 303	遅れ【D】 (60%未満)	③385

- 6次産業化による販売額は、専門家派遣による商品開発等に関する指導助言や、農林漁業者の事業計画策定等の支援に取り組みましたが、販売額の大半を占める産地直売所の売上げが伸び悩み、令和2年度目標値 351 億円に対し、303 億円となり、達成度は【D】となりました。

<今後の方向>

新型コロナウイルス感染症の影響による消費者ニーズの変化を踏まえ、県産農林水産物を活用した発信力のある特産品開発や料理メニューの提供を促進するとともに、農商工連携等を深化させ、付加価値を高めながら消費までつないでいくバリューチェーンの構築に向けた取組を一層促進します。

商品開発等の支援による6次産業化件数（件）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
12	24	24	達成【A】 (100%以上)	48

素材需要量（千m³）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,278	1,320	1,117	遅れ【D】 (60%未満)	1,346

- 素材需要量は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う中国からの住宅設備機器の部品供給の停滞による全国的な住宅着工の遅れ等により木材需要が減少し、一部の木材加工施設において原木の受入れを制限したことから、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、木材の需要喚起を図るため、県産木材製品の放課後児童クラブ等への提供や、県産木材製品のパンフレットによるプロモーション等を行うなど、新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に抑えるための取組を推進しました。

<今後の方向>

非住宅分野での木造化等を進めるため、木造設計技術者等の養成を行うとともに、住宅や商業施設等における県産木材の利用促進に取り組みます。

■県産農林水産物の評価・信頼の向上

- ・県産農林水産物や産地の評価向上を図るため、品質の管理や安定供給等に取り組むとともに、首都圏や海外において、流通関係者へのトップセールス等を実施するほか、量販店や飲食店等でターゲットとする消費者への販売促進活動を展開しています。
- ・県産農林水産物の販路開拓やブランド化を推進するため、関係機関・団体等と連携し、県産食材のPRや国内外におけるフェアの開催、販売促進キャンペーン等の取組を支援しています。
- ・県産木材の利用を促進するため、建築士・建築施工技術者の木造設計技術向上に向けた研修会の実施や、県産木材を使用した住宅の新築等への支援などに取り組んでいます。
- ・水産物の「三陸ブランド」の確立や産地魚市場における評価の向上を図るため、衛生品質管理の高度化に向けたアドバイザーの派遣や商談会の開催等を通じて、県産水産物やその加工品の魅力、産地の復興状況などの情報を発信しています。

計画における指標

いわて牛取扱い推奨店登録数（店舗）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
280	310	344	達成【A】 (100%以上)	330

園芸作物（野菜・果樹）の事前契約取引率（%）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
28	32	39	達成【A】 (100%以上)	36

米のオリジナル新品種販売数量（トン）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
5,500	14,000	13,036	達成【B】 (80%以上100%未満)	16,000

素材需要量（千m³）＜再掲＞

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,278	1,320	1,117	遅れ【D】 (60%未満)	1,346

- 素材需要量は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う中国からの住宅設備機器の部品供給の停滞による全国的な住宅着工の遅れ等により木材需要が減少し、一部の木材加工施設において原木の受入れを制限したことから、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、木材の需要喚起を図るため、県産木材製品の放課後児童クラブ等への提供や、県産木材製品のパンフレットによるプロモーション等を行うなど、新型コロナウイルス感染症の影響を最小限に抑えるための取組を推進しました。

＜今後の方向＞

非住宅分野での木造化等を進めるため、木造設計技術者等の養成を行うとともに、住宅や商業施設等における県産木材の利用促進に取り組めます。

水産加工事業者 1 社当たりの製造品出荷額（億円）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
②75.19	③05.51	③05.86	達成【A】 (100%以上)	②5.83

■戦略的な県産農林水産物の輸出促進と外国人観光客等への対応

・海外への販路の拡大を支援するため、輸出コーディネーター等の人的ネットワークの活用や、相手国のニーズに沿った品目の販売促進活動などに取り組んでいます。

計画における指標

県産農林水産物取扱海外事業者数（社）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
50	59	60	達成【A】 (100%以上)	65

■生産者と消費者の結び付きを深め、地域経済の好循環を創出する取組の推進

・農林水産物の域内消費の拡大を図るため、市町村の地産地消促進計画に基づく取組を支援し、産直による学校給食や医療・福祉施設等への食材供給など地元食材の利用拡大を進めるとともに、地域の特色ある「食」を多様な歴史や文化等とともに情報発信する取組を進めています。

計画における指標

地産地消促進計画策定市町村数（市町村）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
26	31	31	達成【A】 (100%以上)	33

現状値は 2017 年の値

年間売上高 1 億円以上の産直数（施設）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
40	43	39	遅れ【D】 (60%未満)	45

- 年間売上高 1 億円以上の産直数は、産直経営セミナーの開催や専門家派遣による産直運営の改善指導などの支援に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症の影響による来店者数の減少などにより、令和 2 年度目標値 43 施設に対し、39 施設となり、達成度は【D】となりました。

■温室効果ガス排出削減対策の推進

・事業所における環境マネジメントシステムの普及を図るほか、省エネルギー性能の高い設備・機器の導入や効率的なエネルギー管理の支援などにより、事業活動の省エネルギー化に取り組んでいます。

・次世代自動車の普及や環境に配慮した自動車使用の促進、公共交通機関の利用促進を図るなど自動車交通における環境負荷の低減に取り組んでいます。

計画における指標

いわて地球環境にやさしい事業所認定数（事業所）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
③0202	222	252	達成【A】 (100%以上)	242

乗用車の登録台数に占める次世代自動車の割合（%）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
14.8	21.3	20.8	達成【B】 (80%以上100%未満)	25.7

■再生可能エネルギーの導入促進

- ・全国トップクラスにある再生可能エネルギーのポテンシャルを最大限に活用し、再生可能エネルギーの導入促進に取り組んでいます。
- ・国の動向や技術開発の進展等も踏まえながら、岩手県水素利活用構想に基づき、再生可能エネルギーにより生成した水素の利活用や理解促進に取り組んでいます。
- ・災害にも対応できる自立・分散型エネルギーシステムの構築に向けて、防災拠点や被災家屋への太陽光発電等の導入を支援するとともに、市町村等の地域のエネルギーシステムの構築に向けた取組を支援しています。

計画における指標

再生可能エネルギー導入量（MW）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,046	1,651	1,595	達成【B】 (80%以上100%未満)	1,687

住宅用太陽光発電設備導入件数（件）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
25,634	27,800	30,529	達成【A】 (100%以上)	29,700

チップの利用量（BDt）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
230,809	232,500	230,421	遅れ【D】 (60%未満)	233,800

- チップの利用量は、熱利用や発電利用での活用に向け、木質バイオマスフォーラムの開催による普及啓発や木質バイオマスコーディネーターによる市町村等への技術指導などに取り組みましたが、発電施設における燃焼効率向上への取組によりチップ利用の効率化が進んだことなどからチップ利用量が減少したため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、フォーラムの開催による普及啓発や木質バイオマスコーディネーターによる市町村等への技術指導などに取り組みました。

■地球温暖化に伴う気候変動の影響への適応

地球温暖化による気温上昇に伴う気候変動の影響とその対策について、イベントやシンポジウムの開催、テレビ等による広報を実施し、理解促進に取り組んでいます。

計画における指標

気候変動対策に関する総合イベント参加者数（人）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
4,942	10,000	6,199	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	20,000

- 気候変動対策に関する総合イベント参加者数〔累計〕は、気候変動対策の総合イベントとして、「いわて気候変動チャレンジフェスタ」を開催し、広く県民に普及啓発を行いました。令和元年度の台風19号に伴うイベント開催中止による遅れを解消するまでには至らなかったため、達成度は【C】となりました。

<今後の方向>

広く県民に対して、気候変動対策に関する様々な普及啓発を実施し、気候変動の影響と適応策に関する県民の理解増進に取り組みます。

施策項目7 創業、円滑な事業承継の支援

【推進した施策】

- 商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進
- 若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保
- 多様なものづくりの風土の醸成 ○地域コミュニティ活動を支える人材の育成
- 岩手ファンの拡大とU・Iターンの促進
- 安心して移住し、活躍できる環境の整備 ○女性の活躍支援

【主な取組状況】

■商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進

・中小企業者が行う事業承継に向けた準備を早期かつ計画的に進めるため、商工会、商工会議所などの商工指導団体が、金融機関等と連携して実施する事業承継診断や、経営者との対話・相談などの取組を促進しています。

・中小企業者における親族や従業員等への事業承継を円滑に進めるため、商工会、商工会議所が中小企業者に密着し、事業承継計画の策定から事業承継後のフォローアップまで実施する継続的な取組を支援しています。

また、後継候補者がいない中小企業者に対しては、岩手県事業承継・引継ぎ支援センター等の関係機関とのネットワークによる相談対応や事業引受希望者とのマッチングなどの取組を促進しています。

計画における指標

商工指導団体による事業承継診断を受けた企業数（企業）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
300	600	1,195	達成【A】 (100%以上)	1,200

事業承継の支援を受けた企業数（企業）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
807	1,600	2,074	達成【A】 (100%以上)	3,200

■若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保〔再掲〕

(施策項目 1 を参照)

■多様なものづくりの風土の醸成〔再掲〕

(施策項目 5 を参照)

■地域コミュニティ活動を支える人材の育成

地域づくりの新たな担い手である地域おこし協力隊*が円滑に活動できるよう、スキルアップやネットワークづくりを支援するほか、地域おこし協力隊などを対象とした起業セミナーの開催などにより地域への定着を図っています。

※ 地域おこし協力隊

人口減少や高齢化等の進行が著しい地方において、地域外の人材を積極的に受け入れ、地域協力活動を通じて、その定住・定着を図ることで、意欲ある都市住民のニーズに応えながら、地域力の維持・強化を図っていくことを目的とした制度。

計画における指標

地域おこし協力隊員数（人）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
130	206	187	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	230

- 地域おこし協力隊員数は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い市町村が首都圏での募集活動や募集自体を中止等したため、達成度は【C】となりました。なお、令和2年度においては、受入拡大研修会をオンラインで開催するほか、岩手県移住・定住ポータルサイトを活用した市町村における地域おこし協力隊の募集情報を発信するなど、地域おこし協力隊の受入の推進に取り組みました。

〈今後の方向〉

地域づくりの新たな担い手である地域おこし協力隊の活動支援の一環として、地域おこし協力隊を受け入れる市町村を対象とした情報交換会を開催するほか、県のホームページや SNS の活用により地域おこし協力隊の情報を発信するなど、引き続き、地域おこし協力隊の受け入れの推進に取り組みます。

地域おこし協力隊等を対象としたセミナー参加者数（人）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
160	500	293	遅れ【D】 (60%未満)	1,000

- 地域おこし協力隊等を対象としたセミナー参加者数は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、セミナーの開催方法を変更し、一部セミナーのみを対面開催としたため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、地域づくり

人材活動事例発表会やスキルアップ・起業セミナーをオンラインで開催するなど、地域おこし協力隊等の地域への定着を図りました。(オンライン参加者を含めた実績値は累計 629 人)

＜今後の方向＞

地域おこし協力隊等を対象としたセミナーについては、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、オンラインの活用により開催するなどし、将来の地元定着に向けた取組を引き続き行っていきます。

■岩手ファンの拡大とU・Iターンの促進

- ・移住希望者の多様なニーズに対応するため、首都圏に設置している移住と就職の一元的な相談窓口及び就職情報マッチングサイトの機能を強化しています。
- ・首都圏等人材と県内企業・団体との複業マッチングを促進する等し、関係人口の創出・拡大を図っています。
- ・「岩手U・Iターンクラブ」加盟大学などと連携して、就職相談やインターンシップのほか、岩手版ワーキングホリデーの推進等を図るとともに、農林水産業など各分野の人材確保の取組と連携したU・Iターン希望者への情報発信に取り組んでいます。

計画における指標

移住相談件数 (件)

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
3,263	3,940	3,643	遅れ【D】 (60%未満)	4,380

- 移住相談件数は、首都圏における相談体制の強化や、各市町村が配置する「岩手県移住コーディネーター」との連携強化などの取組を進めましたが、新型コロナウイルス感染症による全国規模の移住相談会等イベントの中止などの影響を受け、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、イベント等のオンライン化を進めたことにより、これまで以上に確度の高い相談が増加してきています。さらに、県内で就職相談に対応している「いわてU・Iターンサポートデスク」の相談件数が大きく伸びており、移住を具体的に検討している人が増えています。

＜今後の方向＞

- ・ 「岩手県移住コーディネーター」の全市町村への配置、県の相談窓口との連携強化を図り、移住希望者のサポート体制を強化します。
- ・ 県移住ポータルサイトでの発信を強化し、本県への興味・関心を喚起するよう取り組むとともに、相談窓口への具体的な相談につなげていきます。
- ・ 就職情報マッチングサイト「シゴトバクラシバいわて」の登録求職者等移住希望者を支援するため、県の首都圏相談窓口と市町村の相談窓口との連携対応を強化していきます。
- ・ 市町村と連携してオンラインを含む移住イベントを開催するとともに、移住希望者に対するきめ細かな相談対応を行います。

U・Iターン就職者数 (人)

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
794	4,460	3,187	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	7,060

- U・Iターン就職者数〔累計〕は、新型コロナウイルス感染症の影響による求人数の減少や、緊急事態宣言に伴う移動制限の影響等により、達成度は【C】となりました。なお、令和2年度においては、就職情報マッチングサイト「シゴトバクラシバいわて」の運営、U・Iターン就職希望者と県内企業とのマッチング支援などに取り組みました。

＜今後の方向＞

- ・ 首都圏において、岩手県のアンテナショップ利用者や仕事帰りのビジネスマンを対象とした相談会の実施や、移住イベントをきっかけとしたキャリアカウンセリングなどの伴走支援に取り組みます。
- ・ 県の就職情報マッチングサイト「シゴトバクラシバいわて」の周知拡大を図り、事業者・求職者の登録を促進するとともに、事業者から求職者への応募リクエストを行う機能の更なる活用等により、マッチングを強化していきます。
- ・ 「地方創生移住支援事業」に加え、県独自の「いわて若者移住支援金」により、東京圏からの若者層の移住者拡大に取り組みます。

■安心して移住し、活躍できる環境の整備

- ・ 市町村や関係団体、NPOなどの官民が連携した移住推進体制の強化を図るとともに、企業立地等に伴う移住者を含め、地域で移住者を受け入れるためのサポート体制の整備に取り組んでいます。
- ・ 仕事に関する情報発信の強化や、起業の促進などにより、若者や女性の県内への移住推進を図るとともに、地域おこし協力隊などを対象とした起業セミナーの開催などにより地域への定着を図っています。

計画における指標

移住コーディネーター、定住支援員等を配置している市町村数（市町村）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
9	22	28	達成【A】 (100%以上)	33

地域おこし協力隊等を対象としたセミナー参加者数（人）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
160	500	293	遅れ【D】 (60%未満)	1,000

- 地域おこし協力隊等を対象としたセミナー参加者数〔累計〕は、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、セミナーの開催方法を変更し、一部セミナーのみを対面開催としたため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、地域づくり人材活動事例発表会やスキルアップ・起業セミナーをオンラインで開催するなど、地域おこし協力隊等の地域への定着を図りました。（オンライン参加者を含めた実績値は累計629人）

＜今後の方向＞

地域おこし協力隊等を対象としたセミナーについては、新型コロナウイルス感染症拡大の状況を踏まえ、オンラインの活用により開催するなどし、将来の地元定着に向けた取組を引き続き行っていきます。

■女性の活躍支援 [再掲]

(施策項目 9 を参照)

施策項目 8 小規模企業者への支援

【推進した施策】

- 中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進
- 商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進
- 若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保
- 企業のライフステージに対応した切れ目のない金融支援
- 市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出
- 食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援
- 水産加工業の商品力向上や販路開拓、生産性向上への支援
- 伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援

【主な取組状況】

■中小企業者が行う経営力の強化や生産性の向上、新たな事業活動などの取組の促進 [再掲]

(施策項目 2 を参照)

■商工指導団体や金融機関などの支援機関連携による事業承継の円滑化に向けた取組の促進 [再掲]

(施策項目 7 を参照)

■若者をはじめとする起業者や後継者の育成による経営人材の確保 [再掲]

(施策項目 1 を参照)

■企業のライフステージに対応した切れ目のない金融支援 [再掲]

(施策項目 3 を参照)

■市町村や商店街をはじめとする多様な主体の連携によるまちのにぎわい創出 [再掲]

(施策項目 2 を参照)

■食産業の新たな事業活動の取組や販路開拓への支援 [再掲]

(施策項目 6 を参照)

■水産加工業の商品力向上や販路開拓、生産性向上への支援 [再掲]

(施策項目 2 を参照)

■伝統工芸産業、漆産業、アパレル産業の経営力向上への支援 [再掲]

(施策項目 6 を参照)

施策項目 9 雇用環境の整備に対する支援等

【推進した施策】

- 働き方改革の取組の推進 ○仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進
- いきいきと働き続けるための健康づくりの推進
- 県内就業の促進及びU・Iターンによる人材確保の推進
- 女性・若者・障がい者などへの職業能力開発の支援 ○安定的な雇用の促進
- 雇用・労働環境の整備の促進 ○子育てと仕事の両立を図る家庭への支援
- 障がいなどに応じた多様な就労の場の確保や、就労に向けた支援
- 生涯を通じた健康づくりの推進
- 結婚・家庭・子育てに希望を持てる環境づくりの推進 ○女性の活躍支援

【主な取組状況】

■働き方改革の取組の推進

- ・いわてで働こう推進協議会を核とした「いわて働き方改革推進運動」の展開により、長時間労働の是正、年次有給休暇の取得率向上、完全週休2日制普及等の働き方改革の取組を推進しています。
- ・休暇制度や各種手当などの雇用・労働環境の改善について、岩手労働局と連携し、産業関係団体への要望活動や国の各種助成制度等の普及啓発を行っています。

計画における指標

いわて働き方改革推進運動参加事業者数（事業者）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
128	600	544	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	1,000

年次有給休暇の取得率（%）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
48.7	①62.0	①55.8	遅れ【D】 (60%未満)	③75.0

- 令和元年度の年次有給休暇の取得率は、働き方改革の浸透により全国的に上昇傾向にあり、本県においても一定の上昇が図られたが、有効求人倍率が長期間にわたり高い水準で推移するなど人手不足の傾向が続いていること等を背景に、全国の伸びを上回る伸びに至らず、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度は働き方改革推進運動への参加率が低い業種への個別訪問など行い、意識啓発を推進しています。

<今後の方向>

- ・ 「いわてで働こう推進協議会」を核として、県内企業における休暇取得促進や長時間労働の是正など、「働き方改革」を推進します。
- ・ いわて働き方改革アワードの実施により、「働き方改革」の取組を表彰し、県内企業などに広く普及啓発します。
- ・ 年次有給休暇の取得促進など、働き方改革に向けた取組を推進するため、岩手労働局等関連機関と連携して経済団体等に対して要請を行います。
- ・ 企業が行う働き方改革の取組に要する経費について補助し、県内企業における「働き方改革」等の取組を推進します。

■仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進

- ・セミナー開催や助成金のPRを行うなど、育児休業制度・介護休業制度の普及を促進します。
- ・仕事と子育ての両立支援などに取り組む企業等の表彰・認証の促進などにより、子育てにやさしい職場環境づくりを支援します。

計画における指標

いわて子育てにやさしい企業等認証の認証数（事業者）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
65	215	220	達成【A】 (100%以上)	315

■いきいきと働き続けるための健康づくりの推進 [再掲]

■県内就業の促進及びU・Iターンによる人材確保の推進

- ・若者に県内の仕事や企業について理解を深めてもらうため「いわてで働こう推進協議会」を中心に、中高生向けの出前授業や、高校生及び保護者への企業説明会、高校生と県内若手社員との交流会の実施などに取り組みました。
- ・ジョブカフェいわて及び地域ジョブカフェ等を拠点として、キャリアカウンセリングや研修等により若者等の就職活動や職場定着を支援しました。
- ・若者の早期離職の防止のため、企業の育成担当者の育成スキル向上のためのセミナーを開催したほか、「いわて働き方改革アワード」の「人材確保・定着部門」において、優良な取組を行った企業を表彰するなど、県内企業における人材育成や職場定着の普及啓発などに取り組みました。
- ・学生等のU・Iターン就職を促進するため、インターンシップや就職情報マッチングサイト及び首都圏の相談窓口を核とした就職活動等への支援を強化しています。

計画における指標

高校生の県内企業の認知度割合（%）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
50.8	83.6	-	-	100.0

- 高校生の県内企業の認知度割合は、県教育委員会が例年年度当初に実施している「高校1年・2年基礎力確認調査及び意識調査」の項目の一つとして調査していますが、令和2年度の当該調査は、新型コロナウイルス感染症の影響による高校等の臨時休業措置等を踏まえ中止となったため、実績値が測定できませんでした。なお、令和2年度においては、「いわてで働こう推進協議会」を中心に、岩手の産業・企業への理解促進等を目的として、各高校を会場にWEBを活用した企業ガイダンスやワークショップ「未来のワタシゴト創造プロジェクト」の開催など、県内就業に向けた意識改革や県内企業の認知度向上に取り組みました。

ジョブカフェ等のサービスを利用して就職決定した人数（人）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
2,052	4,200	3,516	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	8,400

高卒者3年以内の離職率（％）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
38.8	36.4	-	-	35.0

- 高卒者3年以内の離職率は、実績が未公表のため、実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、就業支援員による職場定着支援や企業の育成担当者セミナーを行うとともに、社員の定着に係る優良な取組を行った企業を「いわて働き方改革アワード」の「人材育成・定着部門」において表彰するなどの普及啓発に取り組みました。

U・Iターン就職者数（人）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
794	4,460	3,187	やや遅れ【C】 (60%以上80%未満)	7,060

- U・Iターン就職者数〔累計〕は、新型コロナウイルス感染症の影響による求人数の減少や、緊急事態宣言に伴う移動制限の影響等により、達成度は【C】となりました。なお、令和2年度においては、就職情報マッチングサイト「シゴトバクラシバいわて」の運営、U・Iターン就職希望者と県内企業とのマッチング支援などに取り組みました。

<今後の方向>

- ・ 首都圏において、岩手県のアンテナショップ利用者や仕事帰りのビジネスマンを対象とした相談会の実施や、移住イベントをきっかけとしたキャリアカウンセリングなどの伴走支援に取り組みます。
- ・ 県の就職情報マッチングサイト「シゴトバクラシバいわて」の周知拡大を図り、事業者・求職者の登録を促進するとともに、事業者から求職者への応募リクエストを行う機能の更なる活用等により、マッチングを強化していきます。
- ・ 「地方創生移住支援事業」に加え、県独自の「いわて若者移住支援金」により、東京圏からの若者層の移住者拡大に取り組みます。

■女性・若者・障がい者などへの職業能力開発の支援

- ・ 育児に配慮した託児サービス付き訓練を実施するなど、女性の再就職を支援するとともに、就職につながりやすい国家資格の取得を目指す訓練コースなど、雇用情勢や産業政策、企業ニーズを踏まえた職業訓練等の就業支援を実施しています。
- ・ 障がい者の態様に応じた多様な訓練を実施し、障がい者の就職を支援しています。
- ・ 在職者の技能向上を促進するため、企業ニーズを踏まえた在職者訓練を実施するとともに、職業能力開発に関する情報提供、相談・援助を行っています。
- ・ 高度な技能を継承する技能者を育成するため、全国レベルの競技大会への参加やものづくりマイスター制度の活用を促進するとともに、技能検定制度等の職業能力評価制度の普及を促進しています。
- ・ 県立職業能力開発施設において、時代の変化や地域社会のニーズに対応した体制整備を推進し、将来の本県産業を担う人材を育成するとともに、就職を希望する学生の県内就職を促進しています。

計画における指標

離職者等を対象とした職業訓練の女性受講者の就職率 (%)

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
㊸79.7	㊸84.0	㊸76.1	概ね達成【B】 (80%以上 100%未満)	㊸84.0

離職者等を対象とした職業訓練の受講者の就職率 (%)

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
㊸77.1	㊸80.0	㊸75.3	概ね達成【B】 (80%以上 100%未満)	㊸80.0

障がい者委託訓練の受講者の就職率 (%)

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
56.0	63.8	65.2	達成【A】 (100%以上)	69.0

技能検定合格者数 (%)

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,221	1,295	692	遅れ【D】 (60%未満)	1,345

- 技能検定合格者数については、新型コロナウイルス感染症感染拡大による前期技能検定中止や企業が社員の受検を見合わせる風潮があり、技能検定実施に要する会場や設備の借用などの協力が得られなかったことで試験実施が困難となった職種があったこと等の影響により、合格率は向上したものの、達成度は【D】となりました。なお、後期技能検定は、中止となった前期技能検定から学生の受検ニーズが高い職種を中心に実施職種を移行し、受検機会の確保に取り組みました。

<今後の方向>

- 技能検定の機会の確保や試験の円滑な実施のため、県立職業能力開発施設の借用や職業訓練指導員の派遣等に積極的に協力していきます。
- 若年層の受検料の負担を軽減する「受検料の減免措置」について一層の周知を図り、高校生や県立職業能力開発施設等の学生の他、若手技術者の積極的な受検を喚起します。
- 製品の生産性の向上や品質の維持、高い技術力の証明等、技能検定合格者である技能士活用のメリットについて引き続き企業にPRし、技能検定制度の周知と、受検の喚起につなげていきます。

県立職業能力開発施設における県内企業への就職率 (%)

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
63.4	71.0	59.3	遅れ【D】 (60%未満)	75.0

- 県立職業能力開発施設における県内企業への就職率については、例年実施している県内企業説明会の実施回数を増やす等、県内就職率向上のための取組を強化してきたところですが、首都圏を中心とする県外企業の採用活動が旺盛であったこと等により、特定の学科を中心に学生が流れてしまったため、達成度は【D】となりました。

＜今後の方向＞

- ・ ジョブカフェいわてにおいて実施するオンライン説明会やWebカウンセリングの活用を促進し、企業研究の機会が減少するコロナ禍においても県内企業の情報収集ができるよう支援を強化します。
- ・ 県立職業能力開発施設において実施する企業説明会や企業見学・インターンシップ等を通じて学生の県内企業の認知度を高めます。
- ・ 県内就職率の低い産技短については、令和3年度も矢巾校において企業合同説明会を実施予定であるが、水沢校においても実施に向けて検討を行います。
- ・ 県内企業の自動車・半導体分野の人材不足に対応し、地元就職を促進するため、県内企業との連携を強化していきます。

■安定的な雇用の促進

- ・ いわてで働こう推進協議会を中心に、安定的な雇用に向けた企業活動の支援や、医療・福祉分野における人材確保など、各分野での安定的な雇用確保の取組を推進しました。
- ・ 岩手労働局と連携し、求人の正社員化による安定的な雇用の確保や非正規労働者の正社員転換・待遇改善について、施策の周知を行うとともに、経済団体への要請活動を行いました。

計画における指標

高卒者の正社員求人割合（％）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
94.9	96.0	-	-	96.6

- 高卒者の正社員求人割合は、実績値が未公表のため、測定できませんでした。なお、令和2年度においては、岩手労働局及び市町村と連携し、非正規雇用労働者の正社員転換・待遇改善を含む正規雇用による安定的な雇用の確保について、内容の拡充等が行われたキャリアアップ助成金等の施策の周知と併せて、経済団体への要請活動を行いました。

正社員就職・正社員転換数（人）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
12,112	26,400	19,944	やや遅れ【C】 (60%以上80%未満)	52,800

- 正社員就職・正社員転換数〔累計〕は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の長期化に伴い、先行き不透明感から求人を手控える動きが広がったことなどから本県を含め全国的に正社員の新規求人数が減少しており、正社員の有効求人倍率も減少したため、正社員就職数及び正社員転換数のいずれも減少したことから、達成度は【C】となりました。なお、令和2年度においては、岩手労働局及び市町村と連携し、非正規雇用労働者の正社員転換・待遇改善を含む正規雇用による安定的な雇用の確保について、内容の拡充等が行われたキャリアアップ助成金等の施策の周知と併せて、経済団体への要請活動を行いました。

■雇用・労働環境の整備の促進 [再掲]

■子育てと仕事の両立を図る家庭への支援 [再掲]

■障がいなどに応じた多様な就労の場の確保や、就労に向けた支援

- ・障がい者が地域において能力を発揮し、自立した生活ができるよう、障害者就業・生活支援センターや就労移行支援事業所等を通じて就労先の確保や一般就労への移行及び就労後の職場定着を支援しています。
- ・第1次産業が盛んである本県の特徴を生かし、関係機関・団体との連携により、農福連携の取組を促進しています。

計画における指標

農業に取り組んでいる就労継続支援A型事業所の割合（%）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
57	60	64	達成【A】 (100%以上)	63

- 農業に取り組んでいる就労継続支援A型事業所の割合は、今年度、実施される国の調査で判明するため、実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、農林水産業者と就労継続支援事業所等とのマッチング支援等に取り組みました。

■生涯を通じた健康づくりの推進

健康経営の取組の促進などにより、いきいきと働き続けるための健康づくりに取り組んでいます。

計画における指標

健康経営宣言事業所数（事業者）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
625	900	1,361	達成【A】 (100%以上)	1,100

■結婚・家庭・子育てに希望を持てる環境づくりの推進

社会全体で結婚や子育てを支援する機運の醸成に向け、企業等による支援活動が促進されるよう、「いわて子育て応援の店」、「いわて結婚応援の店」の協賛店の拡充を進めています。

計画における指標

「いわて子育て応援の店」協賛店舗数（店舗）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,845	2,118	2,150	達成【A】 (100%以上)	2,300

■女性の活躍支援等

- ・女性の職業生活における活躍を推進するため、女性の職業能力開発や就業支援などを行うとともに、関係団体と緊密に連携し、情報共有や意見交換を行うなど業種を越えた活躍する女性のネットワークづくりを進めています。
- ・いわて女性活躍推進員の配置により、いわて女性活躍企業等認定制度を更に普及するなど、女性が活躍できる職場環境づくりを促進しています。

計画における指標

えるぼし認定企業・いわて女性活躍認定企業等数（社）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
15	160	254	達成【A】 (100%以上)	240

女性のエンパワーメント研修（ロールモデル提供事業）受講者数（人）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
㊦227	397	-	-	517

- 女性のエンパワーメント研修（ロールモデル提供事業）受講者数〔累計〕は、新型コロナウイルス感染症の影響により、集合研修を取りやめたことから、実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、感染拡大を防止する観点から、集合研修に代えてオンラインで開催しました（オンラインでの受講者数を含めた受講者数〔累計〕431人）。

経営者研修受講者数（人）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
㊦340	480	-	-	620

- 経営者研修受講者数〔累計〕は、新型コロナウイルス感染症の影響により、集合研修を取りやめたことから、実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、感染拡大を防止する観点から、集合研修に代えてオンラインで開催しました（オンラインでの受講者数を含めた受講者数〔累計〕493人）。

施策項目 10 消費の促進等

【推進した施策】

- 県産品の販路の拡大への支援
- 県内事業者の海外展開への支援
- 「観光で稼ぐ」地域づくりの推進
- 質の高い旅行商品の開発・売込み
- 外国人観光客の誘客拡大
- 売れる観光地をつくる体制の整備促進
- いわて花巻空港を核とした交流人口の拡大
- 地域公共交通の利用促進
- 民俗芸能など伝統文化を生かした交流の推進
- スポーツを活かした人的・経済的な交流の推進
- 食の信頼向上の推進

【主な取組状況】

■県産品の販路の拡大への支援

アンテナショップ（東京、大阪、福岡）をはじめ、首都圏等における物産展や展示販売会、復興支援のつながりから生まれた催事等の販売機会の確保に努め、消費者ニーズの把握や効果的な情報発信により販路の拡大を図っています。

計画における指標

アンテナショップ（東京）の新規成約件数（件）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
26	50	34	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	100

- アンテナショップ（東京）の新規成約件数〔累計〕は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの販売会等が中止となり、達成度は【C】となりました。なお、令和2年12月に、いわて銀河プラザのオンラインストアを開設し、セット商品を販売するなど、県産品の販売拡大に取り組みました。

＜今後の方向＞

- ・ 首都圏におけるワクチン接種の進捗状況を注視しながら、企業や百貨店での営業活動を再開するとともに、通販事業者や、飲食店等にも営業範囲を拡大していきます。
- ・ 令和2年12月に開設した「いわて銀河プラザのオンラインストア」を活用し、感染症対策を講じた企業内販売会を提案するなど、ニューノーマルに対応した取組を強化していきます。

アンテナショップ（東京、大阪、福岡）における県産品販売額（百万円）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
631	690	450	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	690

- アンテナショップ（東京、大阪、福岡）における県産品販売額は、新型コロナウイルス感染症の流行による臨時休業や時間短縮営業などのため売り上げが大幅に減少し、達成度は【C】となりました。なお、各店舗において各種フェアやイベント、電話による注文受付及び宅配サービスを実施するなど、県産品販路拡大に努めました。

＜今後の方向＞

- ・ 各地域におけるワクチン接種の進捗状況を注視するとともに、感染症対策を講じた上で各種フェアやイベントを開催し、集客を図り県産品の売上を確保していきます。
- ・ いわて銀河プラザ（東京）が、令和2年12月に開設した専用オンラインストアを活用するとともに、集客が見込めるイベント等の開催時には、折込チラシの配布等により新規顧客開拓に取り組んでいきます。

■ 県内事業者の海外展開への支援

- ・ 海外展開を支援する県内関係機関や海外事務所と連携しながら、戦略策定、商談、貿易実務等への一貫した支援や、専門家による個別相談、セミナー等の開催などにより、世界の市場に挑む県内事業者を支援しています。
- ・ 県内事業者の海外展開の意欲を更に高めながら、現地での商談会・展示会への出展やオンラインによる商談、バイヤー招聘等により、県産品の輸出拡大を図っています。
- ・ これまでに構築した国内外のビジネスパートナーとのネットワークを活用し、取引の継続・拡大を目指します。

計画における指標

県産品輸出額（加工食品・工芸品）（百万円）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
801	920	469	遅れ【D】 (60%未満)	1,000

- 県産品輸出額（加工食品・工芸品）は、新型コロナウイルス感染症の影響等により輸出が減少したため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、東アジア地域での現地商談会及びオンラインによる商談等に加え、関係支援機関のプラットフォーム組織である「いわて海外展開コンソーシアム（※）」や本県海外事務所と連携を図りながら、海外展開を志す県内中小企業の支援に取り組みました。

※ いわて海外展開コンソーシアム
海外展開を支援する県内関係機関が、連携して企業支援を進めるためのプラットフォーム組織。

海外商談会等における出展企業数（者）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
54	120	98	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	240

海外商談会等における商談成約等件数（件）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
13	60	58	概ね達成【B】 (80%以上100%未満)	120

■「観光で稼ぐ」地域づくりの推進

- ・高田松原津波復興祈念公園、東日本大震災津波伝承館、震災遺構、被災体験の語り部、三陸復興公園、みちのくしおかぜトレイル、三陸ジオパーク、三陸鉄道など、被災地域の固有のコンテンツを効果的に情報発信し、これらを活用した復興ツーリズムなどの促進を図っています。
- ・御所野遺跡をはじめ、工芸品、食文化、スノーコンテンツ、高原牧場、温泉等の観光コンテンツの磨き上げや、これを活かした北東北各県との連携による広域周遊ルートの構築などにより、北いわてへの誘客拡大を図っています。

計画における指標

観光消費額単価（日本人・県外・宿泊）（千円）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
33.1	34.8	27.8	遅れ【D】 (60%未満)	36.0

- 観光消費額単価（日本人・県外・宿泊）は、新型コロナウイルス感染症の流行により、ビジネス目的の来県者の割合が観光目的よりも高くなったこと、また、宿泊者一人あたりの宿泊日数が減少したことから、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、観光消費額単価及び滞在日数を上げるため、付加価値の高い着地型旅行商品の取組を支援しました。

<今後の方向>

- ・令和3年4月から実施している「いわて旅応援プロジェクト」を通じて、県内客を中心に流動を促進することからはじめ、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、国の施策とも連携を図りながら、徐々に誘客エリアを広げていくことで観光需要喚起策を効果的に展開していきます。

- ・ 東北デスティネーションキャンペーンや東京 2020 オリンピック・パラリンピック期間中の「東北ハウス」において、東北各県の魅力等を国内外に発信するほか、震災から 10 年を契機とした沿岸地域の観光消費を促進します。
- ・ 三陸鉄道や三陸沿岸道路など新たな交通ネットワークを活用した沿岸を南北に縦断する宿泊旅行や、二次交通（レンタカー）利用者を対象とした周遊促進キャンペーンや、ナイトコンテンツを組み合わせた現地オプションツアーの造成など、より広く周遊ができ、より長く滞在ができるモデルコースを構築することで宿泊観光を促進します。

観光消費額単価（外国人・宿泊）（千円）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
44.4	47.7	64.2	達成【A】 (100%以上)	49.9

三陸DMOセンターとの連携による、沿岸地域での観光コンテンツの新規商品化(件)
[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
-	7	16	達成【A】 (100%以上)	13

■質の高い旅行商品の開発・売込み

- ・ 2つの世界遺産や2つの国立公園など、「岩手ならではの」コンテンツに高品質な「食」、「宿」などを組み合わせた高付加価値型の旅行商品造成を促進しています。
- ・ 県、市町村、観光事業者、関係団体等と連携した観光キャンペーンなどによる誘客活動や情報発信に取り組んでいます。

計画における指標

宿泊者数（延べ人数・全施設）（万人泊）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
607.6	623.5	431.2	遅れ【D】 (60%未満)	628.1

- 宿泊者数（延べ人数・全施設）は、新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛や、緊急事態宣言に伴う制限の影響等により減少したため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、宿泊施設の感染症対策に必要な設備の整備等に対する補助金を交付し、安心して観光できる受入態勢整備を行ったほか、県内の宿泊施設を利用する県民等の宿泊料の助成などを実施し旅行需要喚起に取り組みました。

<今後の方向>

- ・ 令和3年4月から実施している「いわて旅応援プロジェクト」を通じて、県内客を中心に流動を促進することからはじめ、新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、国の施策とも連携を図りながら、徐々に誘客エリアを広げていくことで観光需要喚起策を効果的に展開していきます。
- ・ 東北デスティネーションキャンペーンや東京 2020 オリンピック・パラリンピック期間中の「東北ハウス」において、東北各県の魅力等を国内外に発信するほか、震災から 10 年を契機とした沿岸地域の観光消費を促進します。

- 三陸鉄道や三陸沿岸道路など新たな交通ネットワークを活用した沿岸を南北に縦断する宿泊旅行や、二次交通（レンタカー）利用者を対象とした周遊促進キャンペーンや、ナイトコンテンツを組み合わせた現地オプションツアーの造成など、より広く周遊ができ、より長く滞在ができるモデルコースを構築することで宿泊観光を促進します。

本県観光に対する満足度が極めて高い人の割合（全体）（％）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
43.6	47.4	25.7	遅れ【D】 (60%未満)	50.0

- 本県観光に対する満足度が極めて高い人の割合（全体）は、新型コロナウイルス感染症の影響で体験プログラムや地元の人と交流することに対する満足度が低下したため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、新たな旅行スタイルに対応した付加価値の高い旅行商品造成を支援したほか、関係機関と連携し、人材育成に係る研修等を実施し、質の高いおもてなしを行えるよう支援しました。

<今後の方向>

- 県内宿泊施設等に対する感染症対策のための環境整備をはじめ、ワーケーションスペース設置に要する経費などを支援することで、快適な環境を整えつつ、満足度の向上につなげていきます。
- 宿泊、観光施設等におけるお客様の視点に立ったサービス向上を図るため、岩手県観光協会と連携した接遇研修会を実施し、観光産業をけん引する人材を育成することによって、観光客の満足度向上につなげていきます。
- 東北デスティネーションキャンペーンに向けて、これまで地域で磨き上げてきた付加価値の高い旅行商品や、地域の伝統産業をはじめとする地域産業の体験プログラムや地元の人との交流につながるような観光コンテンツを新たな旅のスタイルに対応させるため、さらなる磨き上げを支援することや、質の高いおもてなしにより旅行者の満足度向上につなげていきます。

三陸DMOセンターと連携して、高付加価値型旅行商品向け観光コンテンツの企画を行うプランナー数（人）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
-	7	21	達成【A】 (100%以上)	13

■外国人観光客の誘客拡大

- SNSなどを活用した情報発信により、海外の消費者に直接本県の魅力をPRするとともに、旅行会社へのプロモーションを展開し、東北への誘客拡大を本県への入込み、特に宿泊者数の増加につなげています。
- 外国人個人旅行者（FIT）の誘客を図るため、無料公衆無線LAN、キャッシュレス決済などの情報通信技術（ICT）環境整備や、案内表示の多言語対応、施設のバリアフリー化などの受入環境整備を促進し、受入環境に関する情報を積極的に発信しています。

計画における指標

外国人宿泊者数（延べ人数・全施設）（万人泊）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
18.8	34.7	8.8	遅れ【D】 (60%未満)	39.3

- 外国人宿泊者数（延べ人数・全施設）は、新型コロナウイルス感染症の拡大による外国との往来制限により外国人観光客が減少したことから、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、海外事務所や現地在住コーディネーターと連携したプロモーションや観光博へ出展、オンラインによる情報発信などを行ったほか、宿泊施設における外国人観光客等受入態勢整備や感染症対策を行うことで、観光客の往来が再開した際に安全な受入ができるよう態勢整備の支援を行いました。

<今後の方向>

- ・ 新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、海外事務所や現地コーディネーターと連携して外国でのプロモーションや旅行博等への出展、在日を含めた海外メディアや旅行会社の招請、SNSによる情報発信に加え、東北観光推進機構や国の施策とも連携を図りながら、観光需要喚起策を効果的に展開していく。

また、県内の旅行会社が行うオンラインツアーの商品造成等を支援することによって、アフターコロナの誘客につなげていきます。

- ・ 外国人観光客等受入態勢整備

宿泊施設に対して、外国人観光客等受入態勢整備や感染症対策に要する経費の助成をすることで外国との往来が再開した際に安全な受入が出来るよう態勢整備を促進します。

外国人観光客等受入態勢新規整備施設数（施設）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
40	80	163	達成【A】 (100%以上)	39.3

■売れる観光地をつくる体制の整備促進

- ・ 地域の観光産業を持続的に発展させていくため、マーケットインの視点を持ち、地域資源を磨き上げ、観光資源としてその価値を創造し、魅力的な観光地づくりにつなげていく観光産業をけん引する人材の育成を支援しています。
- ・ 宿泊・観光施設等におけるお客様の視点に立ったサービス向上を図るため、ホスピタリティ（おもてなしの心、接客スキルなど）を身に付けた人材の育成を支援しています。

計画における指標

本県への再来訪意向を持つ人の割合（%）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
80.1	86.0	71.9	遅れ【D】 (60%未満)	90.0

- 本県への再来訪意向を持つ人の割合は、新型コロナウイルス感染症の影響により、移動制限等の解除の見通しが立たなかったことや、人との接触の機会が減少し、体験プログラムや地元の人と交流することに対する満足度が低下したことなどが、再来訪意向を持つ人の割合を減少させたと考えられ、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、岩手県観光協会や三陸DMOセンターなどと連携し、人材育成に係る研修等を行うことで質の高いおもてなしを行えるよう支援を行いました。

＜今後の方向＞

- ・ 東北デスティネーションキャンペーンに向けて、これまで地域で磨き上げてきた付加価値の高い旅行商品や、地域の伝統産業をはじめとする地域産業の体験プログラムや地元の人との交流につながるような観光コンテンツを新たな旅のスタイルに対応させるため、さらなる磨き上げを支援することや、質の高いおもてなしにより旅行者の再来訪意向の向上につなげていきます。
- ・ 宿泊、観光施設等におけるお客様の視点に立ったサービス向上を図るため、岩手県観光協会と連携した接遇研修会を実施し、観光産業をけん引する人材を育成することによって、観光客の再来訪意向の向上につなげていきます。
- ・ 県内宿泊施設等に対する感染症対策のための環境整備をはじめ、ワーケーションスペース設置に要する経費などを支援することで、快適な環境を整えつつ、再来訪意向の向上につなげていきます。

人材育成研修受講者数（人）[累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
297	600	637	達成【A】 (100%以上)	1,200

■いわて花巻空港を核とした交流人口の拡大

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少した国内5路線の航空需要の回復に向け、航空会社等と連携し、神戸線の認知度向上策や旅行商品の造成支援などによる利用促進に取り組んでいます。
- ・観光目的、ビジネス目的の両方の空港利用者のニーズを踏まえて、国内線の路線、便数の維持・拡充やダイヤ改善など、航空会社への継続的な働きかけ取り組んでいます。
- ・国際線の早期の運航再開に向け、新型コロナウイルス感染症の収束状況等を見極めながら、航空会社や旅行会社に対する要請活動や情報交換に取り組んでいます。
- ・国や関係機関等から積極的に情報を収集するとともに、国際線の運航再開時に対応できる態勢の整備に向けて取り組んでいます。
- ・空港アクセスの改善など空港利用者の利便性向上に取り組んでいます。

計画における指標

いわて花巻空港の航空旅客数（千人）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
441	525	142	遅れ【D】 (60%未満)	534
内訳 (国内)	内訳 (国内)	内訳 (国内)		内訳 (国内)
421	448	142		453
(国際)	(国際)	(国際)		(国際)
20	77	0		81

- いわて花巻空港の航空旅客数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令や都道府県間の移動自粛要請の影響等により、国内線が運休、減便となったほか、海外からの入国制限措置により国際線が全便運休となるなど、運航便数及び旅客数が大幅に減少したため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、航空需要の回復に向けて、旅行商品造成支援に取り組んだほか、航空会社に対して新規路線開設を働きかけ、神戸線の新規就航につなげました。

<今後の方向>

新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少した国内5路線の航空需要の回復に向け、航空会社等と連携し、神戸線の認知度向上策や旅行商品の造成支援を強化するなど、国内線の利用促進に積極的に取り組みます。

国内定期便の利用率（%）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
66.4	67.7	41.7	遅れ【D】 (60%未満)	68.5

- 国内定期便の利用率は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う都道府県間の移動自粛要請の影響等により、出張や旅行等の航空需要が減退し、利用者が大幅に減少したため、達成度は【D】となりました。

<今後の方向>

新型コロナウイルス感染症の影響により大きく減少した国内5路線の航空需要の回復に向け、航空会社等と連携し、神戸線の認知度向上策や旅行商品の造成支援を強化するなど、国内線の利用促進に積極的に取り組みます。

国際線の運航回数（回）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
165	628	-	-	628

- 国際線の運航回数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う海外からの入国制限措置等により、国際線の全便が運休となったため、実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、早期の運航再開に向けた航空会社への要請活動や情報交換などに取り組みました。

<今後の方向>

国際線の早期運航再開に向け、トップセールスや運航支援策の提示など航空会社等に対する働きかけを強化するほか、運航再開後は、各路線の持続的・安定的な運航を図るため、旅行会社に対する支援や路線プロモーション等によるインバウンド・アウトバウンドの利用促進に取り組みます。

国際線の利用率（％）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
68.7	73.0	-	-	76.3

- 国際線の運航回数及び国際線の利用率は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う海外からの入国制限措置等により、国際線の全便が運休となったため、実績値は測定できませんでした。なお、令和2年度においては、早期の運航再開に向けた航空会社への要請活動や情報交換などに取り組みました。

<今後の方向>

国際線の早期運航再開に向け、トップセールスや運航支援策の提示など航空会社等に対する働きかけを強化するほか、運航再開後は、各路線の持続的・安定的な運航を図るため、旅行会社に対する支援や路線プロモーション等によるインバウンド・アウトバウンドの利用促進に取り組みます。

■地域公共交通の利用促進

- ・ 県、沿線市町村等で構成される利用促進協議会などを通じて、マイレール意識を醸成するなど、モビリティ・マネジメントの活用により県民意識の変化を促しながら地元利用の促進を図っています。
- ・ 三陸防災復興プロジェクト 2019などを契機とし、三陸鉄道「リアス線」としての一貫運行のメリットや地域の観光資源を生かした企画列車の運行など、県内外からの誘客に向けた魅力ある商品造成及び情報発信の強化に対する支援を行いました。

計画における指標

I G Rいわて銀河鉄道の年間利用者数（万人）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
523	526	436	遅れ【D】 (60%未満)	510

- I G Rいわて銀河鉄道の年間利用者数は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う緊急事態宣言の発令や都道府県間の移動自粛要請の影響等により利用者が減少したため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、鉄道利用の増加に向けて、青い森鉄道と連携した企画きっぷや小学生を対象とした企画きっぷの造成についての支援を行いました。

<今後の方向>

県・沿線市町・I G Rが連携した利用促進策を講じ、地元利用の拡大を図ります。
県・沿線市町のSNS等広報媒体を活用したI G Rの情報発信等を通じ、同社の営業活動と企画展開を支援していきます。

三陸鉄道の年間利用者数（万人）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
52	110	64	遅れ【D】 (60%未満)	110

- 三陸鉄道の年間利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による団体利用のキャンセル等により利用者が大幅に減少したため、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、鉄道利用の増加に向けて、期間限定企画きっぷの販売や三陸の地域資源を活かした企画列車の造成についての支援を行いました。

＜今後の方向＞

県・沿線市町村等で構成している三陸鉄道強化促進協議会により、期間限定企画きっぷや三陸の地域資源を活かした企画列車の造成等、三陸鉄道の利用促進の取組に対する支援をします。

■民俗芸能など伝統文化を生かした交流の推進

民俗芸能など伝統文化を生かした交流人口の拡大を図るため、市町村や民俗芸能団体と連携し、本県が誇る民俗芸能の魅力を発信するなど、観光分野をはじめとした幅広い分野への活用を進めています。

計画における指標

観光客数（歴史・文化に係る観光地点での入込客数）（千人）

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
3,325	3,355	2,144	遅れ【D】 (60%未満)	3,375

- 観光客数（歴史・文化に係る観光地点での入込客数）は、新型コロナウイルス感染症の影響による移動や外出自粛のため観光客が減少し、達成度は【D】となりました。なお、令和2年度においては、SNSを活用した県内の文化芸術活動の情報発信に取り組みました。

■スポーツを生かした人的・経済的な交流の推進

・スポーツによる交流人口の拡大を図るため、いわてスポーツコミッションを中心に様々なスポーツ大会・合宿等の誘致に取り組んでいます。特に、ラグビーワールドカップ2019TM岩手・釜石開催の会場となった釜石鶴住居復興スタジアムにおいて、これまでの国内外とのつながりや三陸防災復興プロジェクト2019などのレガシーを継承し、スポーツイベントを展開しています。

・スポーツを生かした経済的な交流の拡大を図るため、産学官連携により、スポーツ関連の製品、技術、サービスなどの共同研究・開発に向けた取組を促進しています。

計画における指標

スポーツ大会・合宿・イベントの参加者数（人）〔累計〕

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
130,000	310,000	227,814	やや遅れ【C】 (60%以上80%未満)	594,000

- スポーツ大会・合宿・イベントの参加者数〔累計〕は、新型コロナウイルス感染症の影響により、合宿や、全国規模の大会、イベントの中止が相次いだことから、達成度は【C】となりました。なお、令和2年度においては、リモート開催による合宿相談会や、いわてスポーツコミッションHPを活用した県内のスポーツ施設の情報発信を行いました。

＜今後の方向＞

- ・ 大会、イベント等の開催にあたっては、国のガイドライン等に基づき、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら実施します。
- ・ これまで本県で合宿を実施したチームが、新型コロナウイルス感染症収束後、再度岩手県を訪れ合宿を実施してもらえるよう、定期的にアプローチしていきます。

■食の信頼向上の推進

食の安全・安心に関するリスクコミュニケーション(※1)を開催し、県民における食品の安全性についての県民の理解を促進し、安心感を醸成することにより、食の信頼向上を進めています。

また、HACCP(※2)制度化に向けて、食品業者に対するHACCPの普及と岩手版HACCP(※3)からの円滑な移行に取り組みました。

計画における指標

食の安全安心に関する講座型リスクコミュニケーションの延べ受講者数(人) [累計]

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
③90	200	152	やや遅れ【C】 (60%以上 80%未満)	400

- 食の安全安心に関する講座型リスクコミュニケーション [累計] の延べ受講者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、直前キャンセルや当日欠席などで受講者が減少したため、達成度は【C】となりました。なお、令和2年度においては、感染症拡大防止の観点から、参加者の間隔を十分確保するなどの方法により開催しました。

<今後の方向>

新型コロナウイルス感染症拡大の状況等を注視しつつ、感染防止対策を講じたうえで開催することについて、受講者募集段階から情報発信することで、不安の解消に努め、キャンセル数の増加を抑制し参加者数を確保します。

HACCP(※2)導入に関する講習会の受講者数(人)

H29 現状値	R2 目標値	R2 実績値	達成度	計画目標値 (R4)
1,347	3,600	8,237	達成【A】 (100%以上)	7,200

※1 リスクコミュニケーション

社会を取り巻くリスクに関する正確な情報を、行政、専門家、企業、市民などの利害関係者である関係主体間で共有し、相互に意思疎通を図ること。

※2 HACCP

「Hazard Analysis and Critical Control Point」の頭文字の略語で「危害分析重要管理点」ともいい、食中毒等の食品に起因する事故の発生を未然に防止するため、食品の製造における危害を分析し、重要な工程を連続的に管理することによって、一つ一つの製品の安全性を保証しようとする食品の衛生管理手法のひとつである。

※3 岩手版HACCP

HACCP本来の手法の導入が難しい小規模施設等であっても、HACCPの考え方に基づく衛生管理に取り組んでもらえるよう、それぞれの業態に合った、温度管理を中心とする重要管理点(1~5項目)を県があらかじめ示し、定期的な温度等の確認と結果の記録を行うなどの衛生管理を実践することにより、HACCPの考え方の普及を図る本県の取組。なお、県では、平成12年度から「HACCPシステム導入促進事業」を実施し、「岩手版HACCP」の導入を促進している。